南相馬市～工事等設計書～

起工月	令和　7　年　8　月	工事概要	施工延長　L=180.0m 道路改良 ・道路土工　N=1.0式 ・法面工　A=67.1m2 ・排水構造物工　L=181.4m ・１号横断工　L=6.0m ・舗装工　A=16.2m2 ・構造物撤去工　N=1.0式 ・交通誘導警備員　N=60.0人 ・付帯工事　N=1.0式
契約番号	2025000706		
路線名	市道　金沢下北高平線		
工事等名	側溝新設事業排水路整備 （金沢下北高平線）工事		
工事等場所	南相馬市　原町区下北高平字北山　地内外		
総工事費	当初請負	仕様概要	１．設計図書及び仕様書（共通・特記）によること。 ２．詳細は監督員の指示によること。
	当初設計		
	変更請負		
	変更設計		

工　事　費　総　括　表

費　目	金　額	工事価格	消費税相当額	摘　要
本工事費				
附帯工事費				
測量及び試験費				
用地費及び補償費				
機械器具費				
営繕費				
工事雑費				
工事費				
事務費				
事業費				

工 事 費 内 訳 書

契約番号(　　2025000706　　)		
側溝新設事業排水路整備(金沢下北高平線)工事		
種　　別	金　　額（円）	備　　考
道路改良		
道路土工		
法面工		
排水構造物工		
1号横断工		
舗装工		
構造物撤去工		
安全工		
付帯工事		
直接工事費		
諸　経　費		
工事費計(税抜き)		

※諸経費は一括計上すること。ただし、積み上げ金額がある場合は備考に内書で(　)の中に金額を記入すること。

住　所

業者名

代表者名　　㊞

最低制限価格の設定(算定)について

側溝新設事業排水路整備(金沢下北高平線)工事

今回の入札において、最低制限価格を下記の計算式に基づき設定しております。

※該当工事には　✓　のチェック表示をしております。

工事に伴う最低限必要な費用＝最低制限価格(P)

■ 最低制限価格(P)の設定範囲 ： 予定価格(入札書比較価格)の75%～92%＋消費税額

※ 予定価格(入札書比較価格)の75%～92%の範囲内で算出(1千円未満の端数は切り捨てる)した額に、消費税額を加算した額を最低制限価格(P)とする。ただし、上記の設定範囲を上回った(下回った)場合には、それぞれ設定範囲の上限(下限)値とする。

算定式

☑ **一般土木工事(橋製作・架設工を含む)**

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費×68%

☐ **建築工事(一般・解体工事共通)**

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費×68%

※建築工事に付随する設備工事、並びに単独補修工事は建築工事算定方法に準じる

☐ **舗装工事**

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費×68%

☐ **水道工事**

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費×68%

☐ **暖冷房衛生設備工事**

直接工事費×97%＋共通仮設費×90%＋現場管理費×90%＋一般管理費68%

☐ **電気・通信設備工事(製作・据付共通)**

(直接製作費＋直接工事費)×97%＋(共通仮設費＋間接労務費)×90%＋(現場管理費＋工場管理費＋機器間接費)×90%＋一般管理費(製作分＋据付分)×68%

☐ **機械設備工事(製作・据付共通)**

(直接製作費＋直接工事費)×97%＋(共通仮設費＋間接労務費)×90%＋(現場管理費＋工場管理費＋据付間接費＋設計技術費)×90%＋一般管理費×68%

※直接製作費:製作工事に係る経費(材料費、機器単体費、労務費　等)

※直接工事費:据付工事に係る経費(輸送費、材料費、労務費、仮設費　等)

この地図は、建設省国土地理院長の承認を得て、同院発行の５万分の１地形図を複製したものである。　（承認番号）昭61．東複．第261号

位　置　図

南相馬市原町区管内図

工事箇所
(下北高平字北山地内外)

凡　例	

新日本航測株式会社調製

1：50,000
0　1000　2000　3000　4000m

原町市

総 括 情 報 表

事務所	00 市　町　村	
設計書名	実施設計書　　当初　11111111111	
変更回数	0	
事業名		
適用単価区分	1 実施単価	
適用単価地区	71 S（相双1）地区	
単価適用日	00-07.07.15(0)	
諸経費体系	1 土木工事	
ファイル名	11111111111当初側溝新設事業排水路整備（金沢下北高平線）工事	
	当 世 代	前 世 代
前払率	40	
諸経費工種	04 道路改良	
冬期歩掛補正	00 冬期割増なし	
契約保証補正	01 金銭的保証	
施工地域補正	06 (土木)一般交通影響有り2	
現場環境改善費	00 必要無し	
週休二日補正	03 完全週休2日	

工種条件

条件	条件値	名称
A 水替費区分	0	水替費なし
	1	水替費あり
B 山林砂防工置き換え区分	0	山林砂防工置き換えなし
	1	山林砂防工置き換えあり
C 時間的制約を受ける場合の労務単価補正	1	時間的制約を受ける(補正1.06)
	2	時間的制約を著しく受ける(補正1.14)
D 夜間工事の場合の労務単価補正	1	20時開始の夜間工事(補正1.5)
	2	19時開始の夜間工事(補正1.437)
	3	18時開始の夜間工事(補正1.375)
E 特殊勤務費[円]		
F 作業日数集計指示	1	作業日数集計無
	2	作業日数集計1
	3	作業日数集計2
	4	作業日数集計3
	5	作業日数集計4
	6	作業日数集計5

金抜き

本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
本工事費					X1000
道路改良					Y100H002672
	1	式			
道路土工					Y211Y002677
掘削工					Y320B000046
	1	式			
掘削					Y440R001091
	40.1	m3			
掘削 土砂 小規模(標準)					SPA101 00
	1.0	m3			施工　第0 -0001号表
法面整形工					Y3258002692
法面整形（切土部）					Y4408002693
	67.1	m2			
法面整形 切土部 現場制約なし					SPA301 00
	1.0	m2			施工　第0 -0002号表
残土処理工					Y3205002695
整地					Y45W5000020
	91.6	m3			
整地 残土受入れ地での処理					SPA109 00
	1.0	m3			施工　第0 -0003号表

金抜き

本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
土砂等運搬					Y45W5000021
	91.6	m3			
土砂等運搬 標準 ﾊﾞｯｸﾎｳ					SPA105 00
	1.0	m3			施工　第0 -0004号表
法面工					Y211R002717
植生工					Y3200002718
植生シート					Y44AQ002722
	67.1	m2			
法面工（植生マット・シート工）（材料含） 植生シート工　肥料袋無　標準品 S3(施工規模 ２５０m２未満)					S7044 00
	1.0	m2			施工　第0 -0005号表
排水構造物工					Y2121002865
作業土工					Y320B002879
床掘り					Y45W5000143
	124.2	m3			
床掘り 土砂 平均施工幅1m以上2m未満					SPA161 00
	1.0	m3			施工　第0 -0006号表
埋戻し					Y45W5000144
	65.4	m3			
埋戻し 小規模 土砂					SPA181 00
	1.0	m3			施工　第0 -0007号表

金抜き

本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
側溝工	1	式			Y3326
プレキャストU型側溝（Ⅲ-A-i-400A）	181.4	m			Y4020
排水構造物工（U型側溝）（材別） L=2000㎜ 1000kg/個以下 時間的制約を受けない 再利用撤去無	1.0	m			S7140 00 施工　第0 -0008号表
U型側溝ＪＩＳ３種落蓋型　ⅢＡｉ４００Ａ ａ400×ｃ400×Ｌ2000　　５１６kg／本	0.5	本			T2010 00
再生骨材（骨材）クラッシャラン ＲＣ－４０	0.063	m3			T8454 00
側溝蓋（Ⅷ-C-g-400） ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋、Ⅶ-C-g-400	327.0	枚			Y4020
排水構造物工（蓋版）（材別） 40を超え170kg/枚以下 時間的制約を受けない	1.0	枚			S7142 00 施工　第0 -0009号表
U型側溝蓋（ＪＩＳ３種落蓋型） ⅧＣｇ４００　Ｌ５００　　６５kg／枚	1.0	枚			T4005 00
側溝蓋（Ⅷ-C-a-400S） ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋、Ⅶ-C-a-400S	18.0	枚			Y4020
排水構造物工（蓋版）（材別） 40を超え170kg/枚以下 時間的制約を受けない	1.0	枚			S7142 00 施工　第0 -0009号表
グレーチング落蓋型側溝用かさ上げＴ－２５ ⅧＣａ４００Ｓ　５１．２kg／枚	1.0	m			T4610 00
既設U型側溝撤去再設置 180×180	3.9	枚			Y4020

金抜き

本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
排水構造物工（U型側溝）（材別） L=600㎜ 60kg/個以下 時間的制約を受けない 再利用撤去有	1.0	m			S7140 00 施工　第0 -0010号表
排水構造物工（U型側溝）（材別） L=600㎜ 60kg/個以下 時間的制約を受けない 再利用撤去無	1.0	m			S7140 00 施工　第0 -0011号表
集水桝工	1.0	式			Y3020
１号集水桝	1.0	ヶ所			Y4020
現場打ち集水桝・街渠桝（本体） 18－8－40－60%高炉 0.65m3を超え0.69m3以下	1.0	箇所			SPA633 00 施工　第0 -0012号表
グレーチング集水桝落込正方Ⅷ Ｅａ７００Ｓ Ｔ２５　本体　６５．０kg　受枠１９．８kg	1.0	枚			T4835 00
１号横断工					Y2121002865
作業土工					Y320B002879
床掘り	34.2	m3			Y45W5000143
床掘り 土砂 小規模	1.0	m3			SPA161 00 施工　第0 -0013号表
埋戻し	16.2	m3			Y45W5000144
埋戻し 小規模 土砂	1.0	m3			SPA181 00 施工　第0 -0007号表

金抜き

本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
整地					Y45W5000155
	16.2	m3			
整地 残土受入れ地での処理					SPA109 00
	1.0	m3			施工　第0 -0003号表
土砂等運搬					Y45W5000156
	16.2	m3			
土砂等運搬 標準 ﾊﾞｯｸﾎｳ					SPA105 00
	1.0	m3			施工　第0 -0004号表
側溝設置工					Y3215002866
	1.0	式			
落蓋型側溝 B1000×H1600×L2000					Y4020
	6.0	m			
排水構造物工（U型側溝）（材別） L=2000㎜ 2000を超え2900kg/個以下 時間的制約を受けない 再利用撤去無					S7140 00
	1.0	m			施工　第0 -0014号表
落蓋型側溝 B1000×H1600×L2000、2820kg/本 見積り					T100025 00
	0.5	本			
再生骨材（骨材）クラッシャラン ＲＣ－４０					T8454 00
	0.206	m３			
コンクリート 小型構造物 ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設 基礎コンクリート					SPB401 00
	0.137	m3			施工　第0 -0015号表
型枠 一般型枠 均しｺﾝｸﾘｰﾄ					SPB431 00
	0.20	m2			施工　第0 -0016号表
底打ちコンクリート					Y4020
	0.3	m３			

金抜き

本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
コンクリート 小型構造物 ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設 底打ちコンクリート	1.0	m3			SPB401 00 施工　第0 -0015号表
側溝蓋 B1000×L1000	6.0	枚			Y4020
落蓋型側溝蓋据付費 B1000×L1000 カタログ歩掛	1.0	m			V2000 00 施工　第0 -0017号表
落蓋型側溝用蓋 B1000×L1000、430kg/枚 見積り	1.0	枚			T100026 00
取壊し工	1.0	式			Y3020
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し（有筋）	5.3	m3			Y4020
構造物とりこわし工（機械施工） 鉄筋構造物	1.0	m3			S7307 00 施工　第0 -0018号表
殻運搬処理 ｺﾝｸﾘｰﾄ殻（有筋構造物）	5.3	m3			Y4020
殻運搬 ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋)構造物とりこわし 機械積込	1.0	m3			SPA961 00 施工　第0 -0019号表
処分費 ｺﾝｸﾘｰﾄ殻（有筋）	13.2	式			Y4020
＊調整データ＊	1	調整式			#0040 A=1,B=1,C=7
処分料（中間処理） ｺﾝｸﾘｰﾄ殻（有筋）	1.0	t			W3000

本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
舗装切断					Y4020
	8.8	m			
舗装版切断 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下					SPD321 00
	1.0	m			施工　第0 -0020号表
舗装版取壊し					Y4020
	20.3	m2			
舗装版破砕 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 障害等なし					SPD311 00
	1.0	m2			施工　第0 -0021号表
殻運搬処理 ｱｽﾌｧﾙﾄ塊					Y4020
	0.8	m3			
殻運搬 舗装版破砕 機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下)					SPA961 00
	1.0	m3			施工　第0 -0022号表
汚泥運搬処理					Y4020
	0.1	m3			
側溝清掃車運搬 運搬距離　　12.2km					S5200 00
	1.0	m3			施工　第0 -0023号表
処分費 ｱｽﾌｧﾙﾄ塊					Y4020
	1.9	t			
＊調整データ＊					#0040 A=1,B=1,C=7
	1	調整式			
処分料（中間処理） ｱｽﾌｧﾙﾄ塊					W1000
	1.0	t			
処分費 泥水					Y4020
	0.1	t			

金抜き

本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
＊調整データ＊	1	調整式			#0040 A=1,B=1,C=7
処分料（中間処理） 泥水	1.0	t			W4000
舗装復旧工	1.0	式			Y3020
下層路盤工 RC-40　t=19cm	15.6	m2			Y4020
下層路盤（車道・路肩部） 全仕上り厚190mm 1層施工	1.0	m2			SPD005 00 施工　第0 -0025号表
上層路盤工 M-40　t=10cm	15.6	m2			Y4020
上層路盤（車道・路肩部） 粒度調整砕石 全仕上り厚100mm	1.0	m2			SPD009 00 施工　第0 -0026号表
表層工 再生密粒度As13　t=4cm	15.6	m3			Y4020
表層（車道・路肩部） 1.4m以上3.0m以下 平均仕上り厚40mm	1.0	m2			SPD023 00 施工　第0 -0027号表
舗装工	1.0	式			Y2020
取付舗装工	1.0	式			Y3020
取付路盤工	16.2	m2			Y4020

金抜き

本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
下層路盤（車道・路肩部） 全仕上り厚100mm 1層施工	1.0	㎡			SPD005 00 施工　第0 -0028号表
取付表層工	16.2	m３			Y4020
表層（車道・路肩部） 1.4m以上3.0m以下 平均仕上り厚40mm	1.0	㎡			SPD023 00 施工　第0 -0027号表
構造物撤去工	1	式			Y2020
舗装版取壊し工	1.0	式			Y3020
舗装切断	61.3	m			Y4020
舗装版切断 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下	1.0	m			SPD321 00 施工　第0 -0020号表
舗装版取壊し	28.4	m２			Y4020
舗装版破砕 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 障害等なし	1.0	㎡			SPD311 00 施工　第0 -0021号表
殻運搬処理 ｱｽﾌｧﾙﾄ塊	1.1	m３			Y4020
殻運搬 舗装版破砕 機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下)	1.0	㎥			SPA961 00 施工　第0 -0022号表
汚泥運搬処理	0.5	m３			Y4020

金抜き

本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
側溝清掃車運搬 運搬距離　12.2km	1.0	m3			S5200 00 施工　第0 -0023号表
処分費 ｱｽﾌｧﾙﾄ塊	2.7	t			Y4020
＊調整データ＊	1	調整式			#0040 A=1,B=1,C=7
処分料（中間処理） ｱｽﾌｧﾙﾄ塊	1.0	t			W1000
処分費 泥水	0.6	t			Y4020
＊調整データ＊	1	調整式			#0040 A=1,B=1,C=7
処分料（中間処理） 泥水	1.0	t			W4000
構造物取壊し工	1.0	式			Y3020
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し（無筋）	1.2	m3			Y4020
構造物とりこわし工（機械施工） 無筋構造物	1.0	m3			S7307 00 施工　第0 -0029号表
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し（有筋）	2.5	m3			Y4020
構造物とりこわし工（機械施工） 鉄筋構造物	1.0	m3			S7307 00 施工　第0 -0018号表

金抜き

本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
殻運搬処理 コンクリート殻（無筋構造物）	1.2	m3			Y4020
殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし 機械積込	1.0	m3			SPA961 00 施工　第0 -0030号表
殻運搬処理 コンクリート殻（有筋構造物）	2.5	m3			Y4020
殻運搬 コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし 機械積込	1.0	m3			SPA961 00 施工　第0 -0019号表
処分費 コンクリート殻（無筋）	2.8	式			Y4020
＊調整データ＊	1	調整式			#0040 A=1,B=1,C=7
処分料（中間処理） コンクリート殻（無筋）	1.0	t			W2000
処分費 コンクリート殻（有筋）	6.3	式			Y4020
＊調整データ＊	1	調整式			#0040 A=1,B=1,C=7
処分料（中間処理） コンクリート殻（有筋）	1.0	t			W3000
伐採工	1.0	式			Y3020
生垣撤去 H=2.0m	59.0	m2			Y4020

金抜き

本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
伐木・伐竹（伐木除根） 伐木(人力施工:密)(50本/100m2以上)	1.0	m2			SPC201 00 施工　第0 -0031号表
集積積込み	59.0	m2			Y4020
集積積込み（機械施工）（伐木除根） 除根作業あり	1.0	m2			SPC207 00 施工　第0 -0032号表
運搬処理 樹木	35.4	m3			Y4020
運搬（伐木除根） 機械施工 除根作業あり	1.0	m3			SPC213 00 施工　第0 -0033号表
処分費 樹木	2.4	t			Y4020
＊調整データ＊	1	調整式			#0040 A=1,B=1,C=7
処分料（中間処理） 樹木	1.0	t			W5000
安全工	1.0	式			Y2020
安全工	1.0	式			Y3020
交通誘導員	60.0	人			Y4020
交通誘導警備員B [0.908]	1.0	人			R0900 00

金抜き

本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
付帯工事					Y211R002717
水道管切回し					Y3200002718
水道管切回し					Y44AQ002722
	1.0	式			
＊調整データ＊					#0040 A=1,B=1,C=5
	1	調整式			
配水管布設替工					W6000
諸経費込み	1.0	式			
直接工事費					
安全費					Z0008
		式			
工事名標示板費					Y2YK2007379
	1	式			
工事名標示板加算額					S9990 00
	2	基			施工　第0 -0034号表
共通仮設費（率）					Z0009
		式			
共通仮設費計					
純工事費					

金抜き

本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など		数　量	単位	単　価	金　額	備　考
現場管理費			式			
工事原価						
一般管理費			式			
工事価格						
工事価格	（まるめ）					
消費税等相当額			式			
工事費計						

11111111111

南　相　馬　市

金抜き

施工パッケージ内訳表

標準単価：　　機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
掘削 SPA101 土砂 標準単価： 1,212.3　機械構成比： 27.26%　労務構成比： 61.70%	小規模(標準)		施工　第0 -0001号表 1 材料構成比： 11.04%　市場単価構成比： 0.00%	㎥3
MA181 バックホウ（クローラ型）［標準型］ 排ガス２次		27.26%	TPMA181 バックホウ（クローラ型）［標準型］ 排ガス２次	
R0120 運転手（特殊） ［0.778］		61.70%	TPR0120 運転手（特殊）	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		11.04%	TPT0250 軽油 １．２号　パトロール給油	
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊				
A=1　土砂 B=5　上記以外(小規模) E=7　小規模(標準) J=1　土木工事標準積算基準　Ⅱ－１－②－７				

11111111111　　南　相　馬　市　　金抜き

施工パッケージ内訳表

標準単価：　　機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
法面整形 SPA301 切土部 標準単価：　874.32　機械構成比：　9.71%　労務構成比：　80.61%	現場制約なし		施工　第0 -0002号表 1 材料構成比：　9.68%　市場単価構成比：	㎡2 0.00%
K9203 バックホウ［クローラ型］ 山積０．８㎥（平積０．６㎥）		9.71%	TPK9203 バックホウ［クローラ型］賃料	
R0030 普通作業員 ［0.828］		38.29%	TPR0030 普通作業員	
R0120 運転手（特殊） ［0.778］		22.49%	TPR0120 運転手（特殊）	
R0010 土木一般世話役 ［0.775］		19.83%	TPR0010 土木一般世話役	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		9.68%	TPT0250 軽油 １．２号　パトロール給油	
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊				
A=2　切土部 C=2　現場制約なし D=2　ﾚｷ質土､砂及び砂質土､粘性土 E=1　全ての費用 F=1　土木工事標準積算基準　Ⅱ－２－①－４				

施工パッケージ内訳表

標準単価：　　機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
整地 SPA109 残土受入れ地での処理 標準単価：　123.38　機械構成比：　23.13%　労務構成比：　51.64%			施工　第0 -0003号表 1 材料構成比：　25.23%　市場単価構成比：　0.00%	㎥3
K9203 バックホウ［クローラ型］ 山積０．８㎥3（平積０．６㎥3）		23.13%	TPK9203 バックホウ［クローラ型］賃料	
R0120 運転手（特殊） ［0.778］		51.64%	TPR0120 運転手（特殊）	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		25.23%	TPT0250 軽油 １．２号　パトロール給油	
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊				
A=1　残土受入れ地での処理 D=1　土木工事標準積算基準　Ⅱ－１－②－２０				

施工パッケージ内訳表

標準単価：　　機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
土砂等運搬 SPA105 標準 標準単価： 793.46　機械構成比：	バックホウ 45.59%　労務構成比：	39.52%	施工　第0 -0004号表 1 材料構成比： 14.89%　市場単価構成比：	m3 0.00%
MA404 ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］		45.59%	TPMA404 ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］	
RO130 運転手（一般） ［0.793］		39.52%	TPRO130 運転手（一般）	
TO250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		14.89%	TPTO250 軽油 １．２号　パトロール給油	
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊				
A=1　標準 B=3　バックホウ C=1　土砂(岩塊･玉石混り土含む) D=1　DID区間なし E=6　2.0km以下				
F=1　土木工事標準積算基準　Ⅱ－１－②－１３				

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
法面工（植生マット・シート工）（材料含）					施工　第0 -0005号表
S7044 植生シート工　肥料袋無　標準品 S3(施工規模　２５０ｍ２未満)	1	ｍ2			
法面工（人力施工による植生工） 植生シート工　肥料袋無　標準品 週休二日完全週休2日　補正係数1.02	1.000	ｍ2			TA141
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	ｍ2			
A=2　植生シート工　肥料袋無　標準品 B=5　S3(施工規模　２５０ｍ２未満) C=2　時間的制約を受けない D=1　土木工事標準積算基準　Ⅵ－２－④－４					

施工パッケージ内訳表

標準単価：　　機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
床掘り SPA161 土砂 標準単価：　281.39　機械構成比： 平均施工幅1m以上2m未満 20.36%　労務構成比：　65.67%			施工　第0 -0006号表 1 材料構成比：　13.97%　市場単価構成比：　0.00%	㎥
KQ049 バックホウ［クローラ・後方超小旋回］賃料		20.36%	TPKQ049 バックホウ［クローラ・後方超小旋回］賃料	
RO120 運転手（特殊） ［0.778］		65.67%	TPRO120 運転手（特殊）	
TO250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		13.97%	TPTO250 軽油 １．２号　パトロール給油	
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊				
A=1　土砂 B=2　平均施工幅1m以上2m未満 C=1　土留なし D=1　障害なし G=1　土木工事標準積算基準　Ⅱ－１－③－４				

施工パッケージ内訳表

標準単価：　　機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
埋戻し SPA181 小規模 標準単価：　3,871.1　機械構成比：	土砂 9.48%　労務構成比：	86.47%	施工　第0 -0007号表 1 材料構成比：　4.05%　市場単価構成比：	㎥3 0.00%
MA204 バックホウ（クローラ型）［後方超小旋回］ 排ガス２次		8.90%	TPMA204 バックホウ（クローラ型）［後方超小旋回］ 排ガス２次	
MC271 タンパ及びランマ［ランマ］ 質量　６０～８０kg		0.58%	TPMC271 ランマ	
R0030 普通作業員 ［0.828］		49.42%	TPR0030 普通作業員	
R0020 特殊作業員 ［0.769］		19.17%	TPR0020 特殊作業員	
R0120 運転手（特殊） ［0.778］		17.88%	TPR0120 運転手（特殊）	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		3.20%	TPT0250 軽油 １．２号　パトロール給油	
T0240 レギュラーガソリン スタンド		0.85%	TPT0240 ガソリン レギュラー　スタンド	
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊				
A=5　上記以外(小規模) B=1　土砂 D=1　全ての費用 E=1　土木工事標準積算基準　Ⅱ－１－③－１２				

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
排水構造物工（U型側溝）（材別） S7140 L=2000㎜ 1000kg/個以下 時間的制約を受けない 再利用撤去無	1	m			施工　第0 -0008号表
U型側溝 機・労 昼間単価 L=2000㎜ 1000kg/個以下 時間的制約 無 週休二日完全週休2日　補正係数1.04	1.000	m			TDG03
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=3　L=2000㎜ 1000kg/個以下 B=3　時間的制約を受けない C=2　夜間作業　無 D=1　側溝長さ標準 E=1　施工場所による補正無し					
F=1　基礎砕石を使用する(又は再利用撤去作業) G=2　再利用撤去無 H=1　土木工事標準積算基準　Ⅵ－１－⑥－２					
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
排水構造物工（蓋版）（材別） S7142 40を超え170kg/枚以下 時間的制約を受けない	1	枚			施工　第0 -0009号表
蓋版 機・労 昼間単価 ｺﾝｸﾘｰﾄ製･鋼製 40を超え170kg/枚以下 時間的制約 無 週休二日完全週休2日　補正係数1.04	1.000	枚			TDG50
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	枚			
A=2　40を超え170kg/枚以下 B=3　時間的制約を受けない C=2　夜間作業　無 D=1　施工場所による補正無し E=2　再利用撤去作業でない					
F=1　土木工事標準積算基準　Ⅵ－１－⑥－２					

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
排水構造物工（U型側溝）（材別） S7140 L=600㎜ 60kg/個以下 時間的制約を受けない 再利用撤去有	1	m			施工　第0 -0010号表
U型側溝 機・労 昼間単価 L=600㎜ 60kg/個以下 時間的制約 無 週休二日完全週休2日　補正係数1.04	1.000	m			TDG01
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=1　L=600㎜ 60kg/個以下 B=3　時間的制約を受けない C=2　夜間作業　無 D=1　側溝長さ標準 E=1　施工場所による補正無し					
F=1　基礎砕石を使用する(又は再利用撤去作業) G=1　再利用撤去有 H=1　土木工事標準積算基準　Ⅵ－１－⑥－２					
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
排水構造物工（U型側溝）（材別） S7140 L=600㎜ 60kg/個以下 時間的制約を受けない 再利用撤去無	1	m			施工　第0 -0011号表
U型側溝 機・労 昼間単価 L=600㎜ 60kg/個以下 時間的制約 無 週休二日完全週休2日　補正係数1.04	1.000	m			TDG01
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=1　L=600㎜ 60kg/個以下 B=3　時間的制約を受けない C=2　夜間作業　無 D=1　側溝長さ標準 E=1　施工場所による補正無し					
F=1　基礎砕石を使用する(又は再利用撤去作業) G=2　再利用撤去無 H=1　土木工事標準積算基準　Ⅵ－１－⑥－２					

施工パッケージ内訳表

標準単価：　　機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
現場打ち集水桝・街渠桝（本体） SPA633 18－8－40－60%高炉 標準単価：　87,069　機械構成比：　0.08%　労務構成比：　84.99%	0.65m3を超え0.69m3以下		施工　第0 -0012号表 1 材料構成比：　14.93%　市場単価構成比：　0.00%	箇所
K9203 バックホウ［クローラ型］ 山積０．８m3（平積０．６m3）		0.08%	TPK9203 バックホウ［クローラ型］賃料	
R0260 型わく工 ［0.898］		31.94%	TPR0260 型わく工	
R0030 普通作業員 ［0.828］		29.26%	TPR0030 普通作業員	
R0010 土木一般世話役 ［0.775］		11.25%	TPR0010 土木一般世話役	
R0020 特殊作業員 ［0.769］		2.28%	TPR0020 特殊作業員	
T8600 生コンクリート　② １８－８－４０－６０%		14.60%	TPT8251 生コンクリート １８－８－２５　高炉　W／C６０%	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		0.07%	TPT0250 軽油 １．２号　パトロール給油	
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊				
B=19　0.65m3を超え0.69m3以下 C=2　人力打設 D=1　一般養生・特殊養生(練炭) E=2　高炉 F=13　18－8－40－60%				
G=1　小型車割増なし H=1　冬期割増なし I=1　土木工事標準積算基準　Ⅱ－２－⑩－３３				

施工パッケージ内訳表

標準単価：　　機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
床掘り SPA161 土砂 標準単価： 2,170.7　機械構成比：	小規模 19.87%　労務構成比：	72.99%	施工　第0 -0013号表 1 材料構成比： 7.14%　市場単価構成比：	㎥ 0.00%
MA204 バックホウ（クローラ型）［後方超小旋回］ 排ガス２次		19.87%	TPMA204 バックホウ（クローラ型）［後方超小旋回］ 排ガス２次	
R0120 運転手（特殊） ［0.778］		39.96%	TPR0120 運転手（特殊）	
R0030 普通作業員 ［0.828］		33.03%	TPR0030 普通作業員	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		7.14%	TPT0250 軽油 １．２号　パトロール給油	
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊				
A=1　土砂 B=5　上記以外(小規模) E=1　全ての費用 G=1　土木工事標準積算基準　Ⅱ－１－③－４				

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
排水構造物工（U型側溝）（材別） S7140 L=2000㎜ 2000を超え2900kg/個以下 時間的制約を受けない 再利用撤去無	1	m			施工　第0 -0014号表
U型側溝 機・労 昼間単価 L=2000㎜ 2000を超え2900kg/個以下 時間的制約 無 週休二日完全週休2日　補正係数1.04	1.000	m			TDG05
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=5　L=2000㎜ 2000を超え2900kg/個以下 B=3　時間的制約を受けない C=2　夜間作業　無 D=1　側溝長さ標準 E=1　施工場所による補正無し					
F=1　基礎砕石を使用する(又は再利用撤去作業) G=2　再利用撤去無 H=1　土木工事標準積算基準　Ⅵ－１－⑥－２					

施工パッケージ内訳表

標準単価：　　機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
コンクリート SPB401 小型構造物 標準単価： 34,650　機械構成比：	ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設 3.69%　労務構成比：	37.88%	施工　第0 -0015号表 1 材料構成比： 58.43%　市場単価構成比：	㎥ 0.00%
K9205 バックホウ［ｸﾛｰﾗ型・ｸﾚｰﾝ機能付］2.9ｔ吊 山積０．８㎥（平積０．６m3）		3.49%	TPK9205 バックホウ［クローラ型・クレーン付］賃料	
R0030 普通作業員 ［0.828］		11.17%	TPR0030 普通作業員	
R0020 特殊作業員 ［0.769］		10.01%	TPR0020 特殊作業員	
R0010 土木一般世話役 ［0.775］		7.75%	TPR0010 土木一般世話役	
R0120 運転手（特殊） ［0.778］		6.47%	TPR0120 運転手（特殊）	
T8600 生コンクリート　② １８－８－４０－６０％		56.64%	TPTC618 生コンクリート ２４－１２－２５　高炉　Ｗ／Ｃ５５％	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		1.69%	TPT0250 軽油 １．２号　パトロール給油	
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊				
A=2　小型構造物 B=3　ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設 E=2　一般養生 K=2　高炉 L=13　18－8－40－60%				
M=1　小型車割増なし N=1　冬期割増なし O=1　全ての費用 P=1　土木工事標準積算基準　Ⅱ－４－①－４				

施工パッケージ内訳表

標準単価：　　機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
型枠 SPB431 一般型枠 標準単価：　4,714.1　機械構成比：　0.00%　労務構成比：　100.00%	均しｺﾝｸﾘｰﾄ		施工　第0 -0016号表 1 材料構成比：　0.00%　市場単価構成比：　0.00%	㎡2
R0260 型わく工 ［0.898］		58.35%	TPR0260 型わく工	
R0030 普通作業員 ［0.828］		20.27%	TPR0030 普通作業員	
R0010 土木一般世話役 ［0.775］		6.13%	TPR0010 土木一般世話役	
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊				
A=1　一般型枠 B=5　均しｺﾝｸﾘｰﾄ C=1　土木工事標準積算基準　Ⅱ－４－②－２				

11111111111　　南　相　馬　市　　金抜き

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
落蓋型側溝蓋据付費 V2000 B1000×L1000	10	m			施工　第0 -0017号表 特単単価適用日：07年07月15日
土木一般世話役 ［0.775］	0.3	人			R0010
特殊作業員 ［0.769］	0.2	人			R0020
普通作業員 ［0.828］	0.9	人			R0030
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ賃料　油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型　4.9t吊	0.4	日			K2530
＊＊＊　合　計　＊＊＊	10	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
構造物とりこわし工（機械施工） S7307 鉄筋構造物	1	m3			施工　第0 -0018号表
鉄筋構造物 機・労 昼間単価 機械 時間的制約 無 週休二日完全週休2日　補正係数1.03	1.000	m３			TDH17
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=2　鉄筋構造物 B=3　時間的制約を受けない C=2　夜間作業　無 D=2　低騒音・低振動対策　不要（補正なし） E=1　土木工事標準積算基準　Ⅵ－１＋④－２					

施工パッケージ内訳表

標準単価：　　機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
殻運搬 SPA961 ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋)構造物とりこわし 標準単価：　1,327.5　機械構成比：　41.69%　労務構成比：　43.88%	機械積込		施工　第0 -0019号表 1 材料構成比：　14.43%　市場単価構成比：　0.00%	㎥3
MA404 ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］		41.69%	TPMA404 ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］	
RO130 運転手（一般） ［0.793］		43.88%	TPRO130 運転手（一般）	
TO250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		14.43%	TPTO250 軽油 １．２号　パトロール給油	
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊				
A=2　ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋)構造物とりこわし B=1　機械積込 C=1　DID区間なし D=9　3.3km以下 E=1　全ての費用				
F=1　土木工事標準積算基準　Ⅱ－２－２５－１				

施工パッケージ内訳表

標準単価：　　機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
舗装版切断 SPD321 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 標準単価：　673.26　機械構成比：　15.42%　労務構成比：　57.13%	15cm以下		施工　第0 -0020号表 1 材料構成比：　27.45%　市場単価構成比：　0.00%	m
MC448 コンクリートカッタ［バキューム式・湿式］ 超低騒音		10.49%	TPMC448 コンクリートカッタ［バキューム式・湿式］ 超低騒音	
R0020 特殊作業員 ［0.769］		19.60%	TPR0020 特殊作業員	
R0010 土木一般世話役 ［0.775］		10.55%	TPR0010 土木一般世話役	
R0030 普通作業員 ［0.828］		8.73%	TPR0030 普通作業員	
T9877 コンクリートカッタブレード 径　４５ｃｍ（１８インチ）		23.29%	TPTSD05 ブレード（コンクリートカッタ） 径１８インチ（４５ｃｍ）	
T0240 レギュラーガソリン スタンド		2.83%	TPT0240 ガソリン レギュラー　スタンド	
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊				
A=1　ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 B=1　15cm以下 E=1　全ての費用 F=1　土木工事標準積算基準　Ⅳ－３－③－１				

施工パッケージ内訳表

標準単価：　　機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
舗装版破砕 SPD311 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 標準単価：　207.06　機械構成比：　13.49%　労務構成比：　80.49%	障害等なし		施工　第0 -0021号表 1 材料構成比：　6.02%　市場単価構成比：　0.00%	㎡
KQ049 バックホウ［クローラ・後方超小旋回］賃料		13.49%	TPKQ049 バックホウ［クローラ・後方超小旋回］賃料	
R0010 土木一般世話役 ［0.775］		28.91%	TPR0010 土木一般世話役	
R0120 運転手（特殊） ［0.778］		27.69%	TPR0120 運転手（特殊）	
R0030 普通作業員 ［0.828］		23.89%	TPR0030 普通作業員	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		6.02%	TPT0250 軽油 １．２号　パトロール給油	
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊				
A=1　ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 B=1　障害等なし C=1　騒音振動対策不要 D=1　15㎝以下 F=1　積込作業あり				
G=1　全ての費用 H=1　土木工事標準積算基準　Ⅳ－３－②－２				

施工パッケージ内訳表

標準単価：　　機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
殻運搬 SPA961 舗装版破砕 標準単価：　2,316.4　機械構成比：　44.95%　労務構成比：　38.97%	機械積込(騒音対策不要､舗装版厚15㎝以下)		施工　第0 -0022号表 1 材料構成比：　16.08%　市場単価構成比：	㎥ 0.00%
MA404 ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］		44.95%	TPMA404 ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］	
RO130 運転手（一般） ［0.793］		38.97%	TPRO130 運転手（一般）	
TO250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		16.08%	TPTO250 軽油 １．２号　パトロール給油	
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊				
A=3　舗装版破砕 B=3　機械積込(騒音対策不要､舗装版厚15㎝以下) C=1　DID区間なし D=10　3.5㎞以下 E=1　全ての費用				
F=1　土木工事標準積算基準　Ⅱ－２－２５－１				

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
側溝清掃車運搬 S5200 運搬距離　　12.2km	100	m3			施工　第0 -0023号表
普通作業員 [0.828]	10.417	人			R0030 100/9.6
側溝清掃車運転 機－１９ ブロワ式　９．０ｍ３	10.417	日			SK921 100/9.6 施工　第0-0024号表
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　合　計　＊＊＊	100	m3			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=12.2　　運搬距離（km） C=1　　土木工事標準積算基準　Ⅱ－３－⑥－２					

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
側溝清掃車運転 SK921 機－１９ ブロワ式　９．０ｍ３	1	日			施工　第0 -0024号表
運転手（一般） ［0.793］	1.000	人			R0130
軽油 ミニローリー（パトロール給油）	84.000	L			T0250
側溝清掃車［ブロワ式］	1.000	供用日			MD545
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=1　ブロワ式　９．０ｍ３ B=1　運転労務数量 C=84　燃料消費量 D=1　機械損料数量					

施工パッケージ内訳表

標準単価：　　機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
下層路盤（車道・路肩部） SPD005 全仕上り厚190mm 標準単価： 1,202.1　機械構成比：	1層施工 4.67%　労務構成比：	15.69%	施工　第0 -0025号表 1 材料構成比： 79.64%　市場単価構成比：	㎡2 0.00%
MC219 モータグレーダ［土工用］ 排ガス２次		1.87%	TPMC219 モータグレーダ［土工用］ 排ガス２次	
MC230 ロードローラ［マカダム］ 排ガス２次		1.48%	TPMC230 ロードローラ［マカダム］ 排ガス２次	
K2630 タイヤローラ 質量　８ｔ～２０ｔ		0.48%	TPK2630 タイヤローラ賃料	
R0120 運転手（特殊） ［0.778］		7.32%	TPR0120 運転手（特殊）	
R0020 特殊作業員 ［0.769］		2.44%	TPR0020 特殊作業員	
R0030 普通作業員 ［0.828］		2.38%	TPR0030 普通作業員	
R0010 土木一般世話役 ［0.775］		0.72%	TPR0010 土木一般世話役	
T8454 再生骨材（骨材）クラッシャラン ＲＣ－４０		78.02%	TPT8321 クラッシャラン Ｃ－４０	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		1.33%	TPT0250 軽油 １．２号　パトロール給油	
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊				

施工パッケージ内訳表

標準単価：　　機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
A=190　全仕上り厚(㎜) B=1　1層施工 D=2　再生クラッシャラン　ＲＣ－４０ E=1　全ての費用 F=1　土木工事標準積算基準　Ⅳ－１－①－４				

施工パッケージ内訳表

標準単価：　　機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
上層路盤（車道・路肩部） SPD009 粒度調整砕石 標準単価：　569.67　機械構成比：	全仕上り厚100mm 9.88%　労務構成比：	33.13%	施工　第0 -0026号表 1 材料構成比：　56.99%　市場単価構成比：	㎡2 0.00%
MC219 モータグレーダ［土工用］ 排ガス２次		3.96%	TPMC219 モータグレーダ［土工用］ 排ガス２次	
MC230 ロードローラ［マカダム］ 排ガス２次		3.13%	TPMC230 ロードローラ［マカダム］ 排ガス２次	
K2630 タイヤローラ 質量　８ｔ～２０ｔ		1.01%	TPK2630 タイヤローラ賃料	
R0120 運転手（特殊） ［0.778］		15.46%	TPR0120 運転手（特殊）	
R0020 特殊作業員 ［0.769］		5.15%	TPR0020 特殊作業員	
R0030 普通作業員 ［0.828］		5.03%	TPR0030 普通作業員	
R0010 土木一般世話役 ［0.775］		1.52%	TPR0010 土木一般世話役	
T8344 粒度調整砕石 Ｍ－４０　４０～０㎜		53.57%	TPT8345 再生粒度調整砕石 ＲＭ－４０	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		2.81%	TPT0250 軽油 １．２号　パトロール給油	
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊				

施工パッケージ内訳表

標準単価：　　機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
A=2　粒度調整砕石 D=100　全仕上り厚(㎜) E=1　1層施工 H=3　粒度調整砕石　M－４０ J=1　全ての費用				
K=1　土木工事標準積算基準　Ⅳ－１－①－７				

施工パッケージ内訳表

標準単価：　　機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
表層（車道・路肩部） SPD023 1.4m以上3.0m以下 標準単価：　1,934.6　機械構成比：	平均仕上り厚40mm 1.61%　労務構成比：	13.99%	施工　第0 -0027号表 1 材料構成比：　84.40%　市場単価構成比：	㎡2 0.00%
KQ683 アスファルトフィニッシャ［ホイール］賃料		1.03%	TPKQ683 アスファルトフィニッシャ［ホイール］賃料	
K2610 振動ローラ（舗装用･搭乗式ｺﾝﾊﾞｲﾝﾄﾞ型） ３－４ｔ		0.21%	TPK2610 振動ローラ［搭乗式・コンバインド型］賃料	
KQ605 タイヤローラ賃料		0.19%	TPKQ605 タイヤローラ賃料	
R0030 普通作業員 ［0.828］		4.75%	TPR0030 普通作業員	
R0120 運転手（特殊） ［0.778］		3.30%	TPR0120 運転手（特殊）	
R0020 特殊作業員 ［0.769］		3.18%	TPR0020 特殊作業員	
R0010 土木一般世話役 ［0.775］		1.15%	TPR0010 土木一般世話役	
T8420 再生材アスファルト合材　密粒度（１３） 最大粒径１３㎜		77.40%	TPT8025 アスファルト混合物 密粒度（２０）	
T0211 アスファルト乳剤 ＰＫ－３プライム用、ＰＫ－４タック用		6.70%	TPT0211 アスファルト乳剤 ＰＫ－３　プライムコート用	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		0.27%	TPT0250 軽油 １．２号　パトロール給油	

施工パッケージ内訳表

標準単価：　　機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊				
A=3　1.4m以上3.0m以下 B=40　1層当り平均仕上り厚(mm) C=1　2.35t/m3 D=2　ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ E=12　再生　密粒度（１３）				
F=1　全ての費用 G=1　土木工事標準積算基準　Ⅳ－１－②－２				

施工パッケージ内訳表

標準単価：　　機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
下層路盤（車道・路肩部） SPD005 全仕上り厚100mm 標準単価： 1,202.1　機械構成比：	1層施工 4.67%　労務構成比：	15.69%	施工　第0 -0028号表 1 材料構成比： 79.64%　市場単価構成比：	㎡2 0.00%
MC219 モータグレーダ［土工用］ 排ガス２次		1.87%	TPMC219 モータグレーダ［土工用］ 排ガス２次	
MC230 ロードローラ［マカダム］ 排ガス２次		1.48%	TPMC230 ロードローラ［マカダム］ 排ガス２次	
K2630 タイヤローラ 質量　８ｔ～２０ｔ		0.48%	TPK2630 タイヤローラ賃料	
R0120 運転手（特殊） ［0.778］		7.32%	TPR0120 運転手（特殊）	
R0020 特殊作業員 ［0.769］		2.44%	TPR0020 特殊作業員	
R0030 普通作業員 ［0.828］		2.38%	TPR0030 普通作業員	
R0010 土木一般世話役 ［0.775］		0.72%	TPR0010 土木一般世話役	
T8454 再生骨材（骨材）クラッシャラン ＲＣ－４０		78.02%	TPT8321 クラッシャラン Ｃ－４０	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		1.33%	TPT0250 軽油 １．２号　パトロール給油	
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊				

施工パッケージ内訳表

標準単価：　　機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
A=100　全仕上り厚(㎜) B=1　1層施工 D=2　再生クラッシャラン　ＲＣ－４０ E=1　全ての費用 F=1　土木工事標準積算基準　Ⅳ－１－①－４				

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
構造物とりこわし工（機械施工） S7307 無筋構造物	1	m3			施工　第0 -0029号表
無筋構造物 機・労 昼間単価 機械 時間的制約 無 週休二日完全週休2日　補正係数1.03	1.000	m3			TDH11
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=1　無筋構造物 B=3　時間的制約を受けない C=2　夜間作業　無 D=2　低騒音・低振動対策　不要（補正なし） E=1　土木工事標準積算基準　Ⅵ－１－④－２					

施工パッケージ内訳表

標準単価：　　機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
殻運搬 SPA961 ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし 標準単価：　1,072.2　機械構成比：	施工　第0 -0030号表 1 機械積込 41.69%　労務構成比：	㎥ 43.88%	施工　第0 -0030号表 1 材料構成比：　14.43%　市場単価構成比：	㎥ 0.00%
MA404 ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］		41.69%	TPMA404 ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］	
RO130 運転手（一般） ［0.793］		43.88%	TPRO130 運転手（一般）	
TO250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		14.43%	TPTO250 軽油 １．２号　パトロール給油	
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊				
A=1　ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし B=1　機械積込 C=1　DID区間なし D=9　3.3km以下 E=1　全ての費用				
F=1　土木工事標準積算基準　Ⅱ－２－２５－１				

11111111111　　南　相　馬　市　　金抜き

施工パッケージ内訳表

標準単価：　　機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
伐木・伐竹（伐木除根） SPC201 伐木(人力施工:密)(50本/100m2以上) 標準単価：　142.12　機械構成比：　0.00%　労務構成比：　100.00%			施工　第0 -0031号表 1 材料構成比：　0.00%　市場単価構成比：　0.00%	m2
R0020 特殊作業員 ［0.769］		62.01%	TPR0020 特殊作業員	
R0010 土木一般世話役 ［0.775］		19.52%	TPR0010 土木一般世話役	
R0030 普通作業員 ［0.828］		11.93%	TPR0030 普通作業員	
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊				
A=3　伐木(人力施工:密)(50本/100m2以上) B=1　全ての費用 C=1　土木工事標準積算基準　Ⅲ－２－③－２				

施工パッケージ内訳表

標準単価：　　機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
集積積込み（機械施工）（伐木除根） SPC207 除根作業あり 標準単価：　90.965　機械構成比：　31.10%　労務構成比：　58.53%			施工　第0 -0032号表 1 材料構成比：　10.37%　市場単価構成比：	㎡2 0.00%
MA21H バックホウ（クローラ型）［標準型］ 超低騒音・排ガス２０１４		26.94%	TPMA21H バックホウ（クローラ型）［標準型］ 超低騒音・排ガス２０１４	
MA148 掴み装置		4.16%	TPMA148 掴み装置	
R0120 運転手（特殊） ［0.778］		31.21%	TPR0120 運転手（特殊）	
R0010 土木一般世話役 ［0.775］		15.24%	TPR0010 土木一般世話役	
R0030 普通作業員 ［0.828］		12.08%	TPR0030 普通作業員	
T0250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		10.37%	TPT0250 軽油 １．２号　パトロール給油	
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊				
A=1　除根作業あり B=1　全ての費用 C=1　土木工事標準積算基準　Ⅲ－２－③－５				

11111111111　　南　相　馬　市　　金抜き

施工パッケージ内訳表

標準単価：　　機械構成比：　　労務構成比：　　材料構成比：　　市場単価構成比：

代表機労材規格(積算地区)	単価(積算地区)	構成比	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)
運搬（伐木除根） SPC213 機械施工 標準単価：　1,434.1　機械構成比：　59.50%　労務構成比：　29.20%	除根作業あり		施工　第0 -0033号表 1 材料構成比：　11.30%　市場単価構成比：　0.00%	㎥3
MA410 ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］ （深あおり・土砂禁止）		59.50%	TPMA410 ダンプトラック［オンロード・ディーゼル］ 土禁	
RO130 運転手（一般） ［0.793］		29.20%	TPRO130 運転手（一般）	
TO250 軽油 ミニローリー（パトロール給油）		11.30%	TPTO250 軽油 １．２号　パトロール給油	
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊				
A=2　機械施工 B=1　除根作業あり C=1　DID区間なし D=17　8.5km以下 E=1　全ての費用				
F=1　土木工事標準積算基準　Ⅲ－２－③－８				

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
工事名標示板加算額 S9990	1	基			施工　第0 -0034号表
工事名標示板加算額 （木材使用・据付撤去含む）	1.000	基			T9940
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	基			
A=1　　土木工事標準積算基準　Ｉ－２－②－２４					

登 録 単 価 一 覧 表

単価コード	単価名称・規格１・規格２	単　位	単　価	管　理　費　区　分
T100025	落蓋型側溝 B1000×H1600×L2000、2820kg/本	本		全間接費対象額
T100026	落蓋型側溝用蓋 B1000×L1000、430kg/枚	枚		全間接費対象額

金抜き

特 殊 基 礎 単 価 一 覧 表

単価コード	単価名称・規格１・規格２	単　位	単　価	管　理　費　区　分
W1000	処分料（中間処理） ｱｽﾌｧﾙﾄ塊	t		直接工事費内の処分費
W2000	処分料（中間処理） ｺﾝｸﾘｰﾄ殻（無筋）	t		直接工事費内の処分費
W3000	処分料（中間処理） ｺﾝｸﾘｰﾄ殻（有筋）	t		直接工事費内の処分費
W4000	処分料（中間処理） 泥水	t		直接工事費内の処分費
W5000	処分料（中間処理） 樹木	t		直接工事費内の処分費
W6000	配水管布設替工	式		諸経費全般対象外

金抜き

総 括 情 報 表

事務所	D1 南相馬市
設計書名	実施設計書　　当初　00000000000
変更回数	0
事業名	
適用単価区分	1 実施単価
適用単価地区	71 S（相双1）地区
単価適用日	00-07.07.15(0)
諸経費体系	9 水道工事
ファイル名	00000000000水道管布設替（下北高平地区）工事r4

	当 世 代	前 世 代
前払率	40	
工種区分	01 開削・小口径推進工事等	
冬期割増	00 冬期割増なし	
施工地域補正	00 施工地域補正なし	
積雪寒冷地補正	00 積雪寒冷地補正なし	
現場環境改善費	00 必要なし	
契約保証補正	01 金銭的保証	
週休二日補正	02 4週8休以上（月単位）	

工種条件

条件	条件値	名称
A 水替費区分	0	水替費なし
	1	水替費あり
B 山林砂防工置き換え区分	0	山林砂防工置き換えなし
	1	山林砂防工置き換えあり
C 時間的制約を受ける場合の労務単価補正	1	時間的制約を受ける(補正1.06)
	2	時間的制約を著しく受ける(補正1.14)
D 夜間工事の場合の労務単価補正	1	20時開始の夜間工事(補正1.5)
	2	19時開始の夜間工事(補正1.437)
	3	18時開始の夜間工事(補正1.375)
E 特殊勤務費[円]		

金抜き

本　工　事　費　内　訳　表

費目・工種・施工名称など	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
本工事費					X1000
配水管布設替工					Y1009001704
配水管布設替工					Y2001
配水管布設替工					Y3001
資材費					Y4001
ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管（内面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装） K形３種φ75㎜×4m	3	本			TZ0121 00
ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄異形管（内面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装） K形曲管φ75×45°	4	個			TZ0302 00
外部離脱防止丁字管 φ75×φ50	1	個			F0001 00 1
VCｼﾞｮｲﾝﾄ　ﾛﾝｸﾞ φ75	2	個			TZZ0090 00
ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄異形管押輪 酸化被膜ﾎﾞﾙﾄ・ﾅｯﾄφ75	4	組			TZ5011 00
識別マーカー 青色	3	本			F0019 00
＊支給品データ＊		支給式			#0020

金抜き

本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄異形管特殊押輪 酸化被膜ﾎﾞﾙﾄ・ﾅｯﾄφ75　半周ﾀｲﾌﾟ	4	組			TZ5051 00
労務費					Y4001
鋳鉄管吊込み据付工：機械 φ７５以下	9.6	m			SZ0010 00 施工　第0 -0001号表
メカニカル継手工 φ７５以下　押輪	4	口			SZ0020 00 施工　第0 -0003号表
メカニカル継手工 φ７５以下　特殊押輪	4	口			SZ0020 00 施工　第0 -0004号表
鋳鉄管切断工(エンジンカッター) φ７５	4	口			SZ0455 00 施工　第0 -0005号表
硬質塩化ビニル管切断工 φ７５ 撤去管	2	口			SZ0500 00 施工　第0 -0006号表
管明示テープ工：鋳鉄管 φ７５×４０００　　天端明示無し	9.6	m			SZ0150 00 施工　第0 -0007号表
管明示シート工 Ｗ１５０㎜×５０ｍ　2倍	8.5	m			SZ0160 00 施工　第0 -0008号表
ポリエチレンスリーブ被覆工 φ７５以下	9.6	m			SZ0120 00 施工　第0 -0009号表
洗管工 φ75	1				V30001 00 施工　第0 -0010号表
通水試験工 給水車不使用	9.6	m			SZ1011 00 施工　第0 -0011号表

金抜き

本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
排泥弁工					Y2001
排泥弁工					Y3001
資材費					Y4001
耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 ＴＳ－ＶＰ（ＨＩ）φ50×4m　JIS Ｋ 6742	1	本			TZ2156 00
塩ビ管用両受型ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁 φ50	1	個			TZZ0785 00
塩ビ製継手 ＨＩエルボφ50	3	個			TZ3116 00
＊支給品データ＊		支給式			#0020
弁筐関連資材 仕切弁継足棒 L-1000 四方向固定	1	本			TZZ0836 00
仕切弁筐類 口環付ﾈｼﾞ式弁筐(ｶﾗｰ・FCD製・頭部φ300) H=810~1260	1	個			TZZ0843 00
弁筐座台及び弁基礎用底版 弁筐座台(丸型再生ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製) H=50	1	個			TZZ0928 00
弁筐座台及び弁基礎用底版 弁基礎用底版(角形ｺﾝｸﾘｰﾄ製) W500×D300×H60	1	個			TZZ0929 00
労務費					Y4001

金抜き

本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
硬質塩化ビニル管据付工 φ５０	4.0	m			SZ0300 00 施工　第0 -0013号表
硬質塩化ビニル管切断工 φ５０	3	口			SZ0500 00 施工　第0 -0014号表
ＴＳ継手工 φ５０	3	口			SZ0310 00 施工　第0 -0015号表
仕切弁・ﾊﾞﾀﾌﾗｲ弁設置工(縦・横型)：人力 φ５０	1	基			SZ0570 00 施工　第0 -0016号表
ねじ式弁筐設置工 A、B形　2号 底版　有り	1	箇所			SZ0690 00 施工　第0 -0017号表
不断水遮断弁工					Y2001
不断水遮断弁工					Y3001
資材費					Y4001
＊調整データ＊		調整式			#0040
不断水簡易ﾊﾞﾙﾌﾞ設置工事 VP用 φ75 材料費	1	個			TZZ0183 00
＊支給品データ＊		支給式			#0020
仕切弁筐類 口環付ﾈｼﾞ式弁筐(ｶﾗｰ・FCD製・頭部φ300) H=705~905	1	個			TZZ0842 00

金抜き

本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
弁筐座台及び弁基礎用底版 弁筐座台(丸型再生ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製) H=50	1	個			TZZ0928 00
弁筐座台及び弁基礎用底版 弁基礎用底版(角形ｺﾝｸﾘｰﾄ製) W500×D300×H60	1	個			TZZ0929 00
労務費					Y4001
ねじ式弁筐設置工 A、B形　2号 底版　有り	1	箇所			SZ0690 00 施工　第0 -0017号表
＊調整データ＊		調整式			#0040
不断水簡易ﾊﾞﾙﾌﾞ設置工事 VP用 φ75 工事費	1	箇所			TZZ0184 00
直接工事費					
共通仮設費 対象額算出		式			
共通仮設費（率分）		式			Z0013
共通仮設費					
純工事費					
現場管理費 対象額算出		式			

金抜き

本 工 事 費 内 訳 表

費目・工種・施工名称など	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
現場管理費					
		式			
工事原価					
一般管理費 対象額算出					
		式			
一般管理費等					
		式			
工事価格					
工事価格（改め）					
消費税相当額					
		式			
工事費計					

00000000000

福　島　県

金抜き

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
鋳鉄管吊込み据付工：機械 SZ0010 φ７５以下	10	m			施工　第0 -0001号表
配管工 ［0.764］	0.06	人			R0300 0.06*1
普通作業員 ［0.828］	0.13	人			R0030 0.13*1
クレーン付トラック運転 機－１ ４ｔ積　２．９ｔ吊	1.21	h			SZ8060 1.21*1 施工　第0-0002号表
＊＊＊　合　計　＊＊＊	10	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=1　　据付 B=1　　φ７５以下 C=1　　少ない D=1　　良好					

金抜き

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
クレーン付トラック運転 SZ8060 機－１ ４ｔ積　２．９ｔ吊	1	h			施工　第0 -0002号表
運転手（特殊） ［0.778］	0.17	人			R0120
軽油 ミニローリー（パトロール給油）	5.30	L			T0250
トラック［クレーン装置付］ ４～４．５ｔ積２．９ｔ吊	1.00	h			M0343
諸雑費	1	式			#99
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	h			
A=2　　４ｔ積　２．９ｔ吊					

金抜き

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
メカニカル継手工 SZ0020 φ７５以下　押輪	1	口			施工　第0 -0003号表
配管工 ［0.764］	0.07	人			R0300 0.05*1.3
普通作業員 ［0.828］	0.07	人			R0030 0.05*1.3
諸雑費	1.00	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	口			
A=1　継手 B=1　φ７５以下 C=2　離脱防止継手 D=1　押輪 E=0　押しボルト数（特殊押輪使用の場合のみ）					
F=0　T頭ボルト数（特殊押輪使用の場合のみ） G=1　少ない H=1　良好					

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
メカニカル継手工 SZ0020 φ７５以下　特殊押輪	1	口			施工　第0 -0004号表
配管工 ［0.764］	0.07	人			R0300 0.05*1.3
普通作業員 ［0.828］	0.07	人			R0030 0.05*1.3
諸雑費	1.00	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	口			
A=1　継手 B=1　φ７５以下 C=1　普通継手 D=2　特殊押輪 E=1　押しボルト数（特殊押輪使用の場合のみ）					
F=1　T頭ボルト数（特殊押輪使用の場合のみ） G=1　少ない H=1　良好					

金抜き

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
鋳鉄管切断工(エンジンカッター) SZ0455 φ７５	1	口			施工　第0 -0005号表
特殊作業員 [0.769]	0.03	人			R0020
普通作業員 [0.828]	0.06	人			R0030
エンジンカッター損料	0.03	日			TZ8252
諸雑費	30.00	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	口			
A=1　　切断 B=2　　φ７５					

金抜き

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
硬質塩化ビニル管切断工 SZ0500 φ７５ 撤去管	1	口			施工　第0 -0006号表
配管工 ［0.764］	0.02	人			R0300
普通作業員 ［0.828］	0.02	人			R0030
諸雑費	5.00	%			#09
撤去の補正					+00
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	口			
A=2　　撤去管の切断 B=8　　φ７５					

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
管明示テープ工：鋳鉄管 SZ0150 φ７５×４０００　　天端明示無し	100	m			施工　第0 -0007号表
普通作業員 [0.828]	0.11	人			R0030
管明示テープ（ビニル製・印刷表示付） W50㎜×t0.15㎜　粘着	11.60	m			TZ7112
＊＊＊　合　計　＊＊＊	100	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=2　　φ７５×４０００　　天端明示無し B=11.6　　管明示テープ数量（m） C=2　　ビニル製・印刷表示付 W50㎜×t0.15㎜ 粘着					
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
管明示シート工 SZ0160 Ｗ１５０㎜×５０ｍ　２倍	100	m			施工　第0 -0008号表
普通作業員 [0.828]	0.40	人			R0030
管埋設明示シート W150㎜×50m２倍	100.00	m			TZ7012
＊＊＊　合　計　＊＊＊	100	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=2　　Ｗ１５０㎜×５０ｍ　２倍					

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
ポリエチレンスリーブ被覆工 SZ0120 φ７５以下	100	m			施工　第0 -0009号表
配管工 ［0.764］	0.25	人			R0300
普通作業員 ［0.828］	0.25	人			R0030
ポリエチレンスリーブ φ７５　×　５．０m	125.00	m			TZ8011
粘着テープ ｔ＝０．４mm　W＝５０mm	51.00	m			TZ8052
＊＊＊　合　計　＊＊＊	100	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=1　φ７５以下 B=2　粘着テープ C=0　ポリエチレンスリーブ割増係数 D=0　固定バンド割増係数					

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
洗管工 V30001 φ75	5				施工　第0 -0010号表 特単単価適用日：07年07月15日
ﾎﾟﾘﾋﾟｯｸ ﾍﾞｱ φ75	1	個			TZZ1653
ﾎﾟﾘﾋﾟｯｸ ｽﾜﾌﾞ φ75	1	個			TZZ1656
＊＊＊　合　計　＊＊＊	5				
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1				
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
通水試験工 SZ1011 給水車不使用	1	m			施工　第0 -0011号表
通水試験工 既設管と連絡して給水車が不要の場合	1.00	日			SZ1010 施工　第0-0012号表
m当たり		m			+00
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=5　　給水車不使用					

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
通水試験工 SZ1010 既設管と連絡して給水車が不要の場合	1	日			施工　第0 -0012号表
配管工 ［0.764］	3.00	人			R0300
普通作業員 ［0.828］	3.00	人			R0030
器具損料及び諸雑費	20.00	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=2　　既設管と連絡して給水車が不要の場合					
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
硬質塩化ビニル管据付工 SZ0300 φ５０	10	m			施工　第0 -0013号表
配管工 ［0.764］	0.10	人			R0300
普通作業員 ［0.828］	0.18	人			R0030
＊＊＊　合　計　＊＊＊	10	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=1　　据付 B=7　　φ５０					

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
硬質塩化ビニル管切断工 SZ0500 φ５０	1	口			施工　第0 -0014号表
配管工 ［0.764］	0.01	人			R0300
普通作業員 ［0.828］	0.01	人			R0030
諸雑費	1.00	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	口			
A=1　　切断 B=7　　φ５０					

施　工　内　訳　表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ＴＳ継手工 SZ0310 φ５０	2	口			施工　第0 -0015号表
配管工 [0.764]	0.04	人			R0300
普通作業員 [0.828]	0.04	人			R0030
諸雑費	1.00	%			#09
＊＊＊　合　計　＊＊＊	2	口			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	口			
A=7　φ５０					
＊＊					
仕切弁・ﾊﾞﾀﾌﾗｲ弁設置工(縦・横型)：人力 SZ0570 φ５０	1	基			施工　第0 -0016号表
配管工 [0.764]	0.03	人			R0300
普通作業員 [0.828]	0.15	人			R0030
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	基			
A=1　φ５０ B=1　設置					

施　工　内　訳　表

名　称　・　規　格　な　ど	数　　量	単　位	単　　価	金　　額	備　　考
ねじ式弁筐設置工 SZ0690 A、B形　2号 底版　有り	1	箇所			施工　第0 -0017号表
普通作業員 [0.828]	0.04	人			R0030
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			
A=2　　A、B形　2号 B=2　　底版　有り（A、B形の場合のみ選択可） C=1　　設置					

金抜き

登 録 単 価 一 覧 表

単価コード	単価名称・規格１・規格２	単　位	単　価	管　理　費　区　分
F0001	外部離脱防止丁字管 φ75×φ50	個		全間接費対象額
F0019	識別マーカー 青色	本		全間接費対象額

金抜き

令和　7 年度

数　量　総　括　表

(No.0～No.9)

数　量　総　括　表

工　種	種　別	細　目	単位	数　量	備　考
道路改良工事					
土　工					
(切土)					
	バックホウ掘削		m3	40.1	
	バックホウ床掘		m3	124.2	
(盛土)					
	路床盛土	(W＜2.5m)	m3	0.0	
	人力埋戻	(W＜1.0m)	m3	65.4	
	人力盛土	(W＜1.0m)	m3	0.0	
	路肩盛土	(購入土)	m3	0.0	
(購入土)					
	購入土	(ほぐした土量)	m3	0.0	0.0×1.33＝0.0m3
(残土)					
	捨　土		m3	91.6	
(切取法面仕上げ)					
	盛土法面仕上げ		m2	0.0	
	切土法面仕上げ		m2	67.1	
法　面　工					
	植生工	植生シート	m2	67.1	
排　水　工					
	U　型　側　溝	(Ⅲ-A-ｉ-300A)	m		
	U　型　側　溝	(Ⅲ-A-ｉ-400A)	m	181.4	
	コンクリート蓋	(Ⅶ-C-g-300)	枚		
	コンクリート蓋	(Ⅶ-C-g-400)	枚	327	
	グレーチング蓋	(Ⅷ-C-a-300S)	枚		
	グレーチング蓋	(Ⅷ-C-a-400S)	枚	18	
	第1号横断工		式	1.0	別紙内訳書
	第1号排水工		式		別紙内訳書
	1号集水桝		ヶ所	1.0	別紙内訳書
	2号集水桝		ヶ所		別紙内訳書

数　量　総　括　表

工　種	種　別	細　目	単位	数　量	備　考
	3号集水桝		ヶ所		別紙内訳書
	U　型　側　溝	(Ⅲ-A-c-30)	m		2号集水桝接続
路　盤　工					
	下層路盤工	切込砕石　C-40, t＝19cm	m2		
	下層路盤路側材	切込砕石　C-40	m3		
	上層路盤工	粒調砕石 M-40, t＝10cm	m2		
	上層路盤路側材	粒調砕石 M-40	m3		
舗　装　工					
	表　層　工	再生密粒度As13, t＝4cm	m2		
雑　　工					
	取付路盤工	切込砕石　C-40, t＝10cm	m2	16.2	
	取付表層工	再生密粒度As13, t＝4cm	m2	16.2	
	既設U型側溝撤去再設置	180×180	m	3.9	L=2.00+1.90＝3.90m
	排泥弁看板撤去再設置		基		
	舗装版切断工	As版、 t＝4cm	m	61.30	
	汚泥水処理（舗装切断）		m3	0.46	
	汚泥水処分（舗装切断）		t	0.64	
	舗装版取壊し	As版、 t＝4cm	m2	28.4	
	コンクリート取壊し	(鉄筋構造物)	m3	2.50	
	コンクリート取壊し	(無筋構造物)	m3	1.17	
	アスファルト殻運搬		m3	1.14	
	コンクリート殻運搬	(鉄筋構造物)	m3	2.50	
	コンクリート殻運搬	(無筋構造物)	m3	1.17	
	アスファルト殻処分		t	2.68	
	コンクリート殻処分	(鉄筋構造物)	t	6.25	
	コンクリート殻処分	(無筋構造物)	t	2.75	
	生垣撤去	(H＝2.00m)	m2	59.00	(想定値)
	樹木運搬		m3	35.40	(想定値)
	樹木処分		t	2.36	(想定値)

第1号横断工　数　量　表

1.0式

工　種	種　別	細　目	単位	数量	備　考
土　工					
	バックホウ床掘		m3	34.2	
	バックホウ埋戻		m3	16.2	
	残　土	捨　土	m3	16.2	
落蓋型側溝					
	落蓋型側溝	(1000×1600)	m	6.0	2820kg/2m/本
	落蓋型側溝蓋	(W＝1000用)	枚	6.0	430kg/1m/枚
	底打ちコンクリー	(18-8-40BB)	m3	0.30	
取壊し工					
	舗装版切断工	As版、ｔ＝4cm	m	8.80	
	汚泥水処理（舗装切断）		m3	0.07	
	舗装版取壊し	As版、ｔ＝4cm	m2	20.25	
	コンクリート取壊し	(鉄筋構造物)	m3	5.3	
	アスファルト殻運搬		m3	0.81	
	コンクリート殻運搬	(鉄筋構造物)	m3	5.3	
	アスファルト殻処分		t	1.90	
	コンクリート殻処分	(鉄筋構造物)	t	13.20	
	汚泥水処理処分		t	0.09	
舗装復旧工					
	下層路盤工	切込砕石 C-40, ｔ＝19cm	m2	15.6	
	上層路盤工	粒調砕石 M-40, ｔ＝10cm	m2	15.6	
	表　層　工	再生密粒度As13, ｔ＝4cm	m2	15.6	
付帯工事					
	水道管切り回し	(φ75)	式	1.0	別紙数量計算書参照

集水桝工　数量表

1.0ヶ所当たり

工　種	種　別	細　目	単位	数量	備　考
1号集水桝					
	コンクリート	(18-8-40BB)	m3	0.69	
	型　枠	(小型構造物)	m2	6.12	
	基礎砕石	(RC-40、t=15cm)	m2	1.69	
	グレーチング蓋	(Ⅷ-E-a-700S)	枚	1.0	84.8kg/枚
2号集水桝					
	コンクリート	(18-8-40BB)	m3		
	型　枠	(小型構造物)	m2		
	基礎砕石	(RC-40、t=15cm)	m2		
	グレーチング蓋	(Ⅷ-E-a-600S)	枚		67.1kg/枚
3号集水桝					
	コンクリート	(18-8-40BB)	m3		
	型　枠	(小型構造物)	m2		
	基礎砕石	(RC-40、t=15cm)	m2		
	グレーチング蓋	(Ⅷ-E-a-600S)	枚		67.1kg/枚

路線名
金沢下北高平線（No.0～No.9）　＊＊＊＊

土　工　集　計　表

＊＊＊＊

（ 路線延長 L＝　　180.000 m ）

項目 No.	項 目 名	単位	合　　計	備　　考
C1	バックホウ掘削	m3	40.1	
C2	バックホウ床堀	m3	124.2	
B1	路床盛土（W＜2.5m）	m3	0.0	
B2	人力埋戻（W＜1.0m）	m3	65.4	
B3	人力盛土（W＜1.0m）	m3	0.0	
L1	盛土法面仕上げ（左）	m2	0.0	
L2	切土法面仕上げ（左）	m2	0.0	
L3	切土法面仕上げ（右）	m2	67.1	

残土（捨土）　　V＝（40.1＋124.2）－ 65.4÷0.9＝91.6m3

盛土法面仕上げ　　A＝0.0m2

切土法面仕上げ　　A＝67.1m2

張芝（ワラ）　　A＝67.1m2

土　量　計　算　書

No.1-1

測点番号	距離	バックホウ掘削			バックホウ床堀			路床盛土（W＜2.5m）		
		断面	平均	数量	断面	平均	数量	断面	平均	数量
No.0	0.000	0.0			0.7			0.0		
BC.1	10.320	0.8	0.40	4.1	0.8	0.75	7.7	0.0	0.00	0.0
No.1	9.680	1.0	0.90	8.7	0.8	0.80	7.7	0.0	0.00	0.0
No.2	20.000	0.6	0.80	16.0	0.8	0.80	16.0	0.0	0.00	0.0
SP.1	5.590	0.3	0.45	2.5	0.8	0.80	4.5	0.0	0.00	0.0
No.3	14.410	0.1	0.20	2.9	0.7	0.75	10.8	0.0	0.00	0.0
No.4	20.000	0.0	0.05	1.0	0.7	0.70	14.0	0.0	0.00	0.0
EC.1	0.859	0.0	0.00	0.0	0.8	0.75	0.6	0.0	0.00	0.0
BC.2	4.395	0.0	0.00	0.0	0.8	0.80	3.5	0.0	0.00	0.0
SP.2	10.286	0.0	0.00	0.0	0.7	0.75	7.7	0.0	0.00	0.0
No.5	4.460	0.5	0.25	1.1	0.9	0.80	3.6	0.0	0.00	0.0
No.5+2.45	2.450	0.4	0.45	1.1	0.9	0.90	2.2	0.0	0.00	0.0
EC.2	3.375	0.0	0.20	0.7	0.7	0.80	2.7	0.0	0.00	0.0
小　計	105.825			38.1			81.0			0.0
合　計	105.825			38.1			81.0			0.0

土　量　計　算　書

No.1-2

測点番号	距離	バックホウ掘削			バックホウ床堀			路床盛土（W＜2.5m）		
		断面	平均	数量	断面	平均	数量	断面	平均	数量
No.6	14.175	0.0	0.00	0.0	0.6	0.65	9.2	0.0	0.00	0.0
No.7	20.000	0.0	0.00	0.0	0.6	0.60	12.0	0.0	0.00	0.0
No.8	20.000	0.0	0.00	0.0	0.5	0.55	11.0	0.0	0.00	0.0
No.9	20.000	0.2	0.10	2.0	0.6	0.55	11.0	0.0	0.00	0.0
No.9+13.40										
No.10										
BC.3										
No.10+11.0										
No.11										
SP.3										
No.12										
No.13										
No.13+0.77										
小　計	74.175			2.0			43.2			0.0
合　計	180.000			40.1			124.2			0.0

土　量　計　算　書

No.2-1

測点番号	距離	人力埋戻(W＜1.0m)			人力盛土(W＜1.0m)			盛土法面仕上げ(左)		
		断面	平均	数量	断面	平均	数量	断面	平均	数量
No.0	0.000	0.4			0.0			0.0		
BC.1	10.320	0.4	0.40	4.1	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0
No.1	9.680	0.4	0.40	3.9	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0
No.2	20.000	0.4	0.40	8.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0
SP.1	5.590	0.4	0.40	2.2	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0
No.3	14.410	0.4	0.40	5.8	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0
No.4	20.000	0.4	0.40	8.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0
EC.1	0.859	0.4	0.40	0.3	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0
BC.2	4.395	0.4	0.40	1.8	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0
SP.2	10.286	0.4	0.40	4.1	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0
No.5	4.460	0.4	0.40	1.8	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0
No.5+2.45	2.450	0.4	0.40	1.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0
EC.2	3.375	0.4	0.40	1.4	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0
小　計	105.825			42.4			0.0			0.0
合　計	105.825			42.4			0.0			0.0

土　量　計　算　書

No.2-2

測点番号	距離	人力埋戻(W＜1.0m)			人力盛土(W＜1.0m)			盛土法面仕上げ(左)		
		断面	平均	数量	断面	平均	数量	断面	平均	数量
No.6	14.175	0.3	0.35	5.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0
No.7	20.000	0.3	0.30	6.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0
No.8	20.000	0.3	0.30	6.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0
No.9	20.000	0.3	0.30	6.0	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0
No.9+13.40										
No.10										
BC.3										
No.10+11.0										
No.11										
SP.3										
No.12										
No.13										
No.13+0.77										
小　計	74.175			23.0			0.0			0.0
合　計	180.000			65.4			0.0			0.0

土　量　計　算　書

No.3-1

測点番号	距離	切土法面仕上げ(左)			切土法面仕上げ(右)					
		断面	平均	数量	断面	平均	数量	断面	平均	数量
No.0	0.000	0.0			0.0					
BC.1	10.320	0.0	0.00	0.0	1.9	0.95	9.8			
No.1	9.680	0.0	0.00	0.0	1.5	1.70	16.5			
No.2	20.000	0.0	0.00	0.0	1.0	1.25	25.0			
SP.1	5.590	0.0	0.00	0.0	0.8	0.90	5.0			
No.3	14.410	0.0	0.00	0.0	0.0	0.40	5.8			
No.4	20.000	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0			
EC.1	0.859	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0			
BC.2	4.395	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0			
SP.2	10.286	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0			
No.5	4.460	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0			
No.5+2.45	2.450	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0			
EC.2	3.375	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0			
小　計	105.825			0.0			62.1			
合　計	105.825			0.0			62.1			

土　量　計　算　書

No.3-2

測点番号	距離	切土法面仕上げ(左)			切土法面仕上げ(右)					
		断面	平均	数量	断面	平均	数量	断面	平均	数量
No.6	14.175	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0			
No.7	20.000	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0			
No.8	20.000	0.0	0.00	0.0	0.0	0.00	0.0			
No.9	20.000	0.0	0.00	0.0	0.5	0.25	5.0			
No.9+13.40										
No.10										
BC.3										
No.10+11.0										
No.11										
SP.3										
No.12										
No.13										
No.13+0.77										
小　計	74.175			0.0			5.0			
合　計	180.000			0.0			67.1			

数 量 総 括 表

工種区分	工 種	種 別	細 別	単位	数 量	特記事項	
配水管替布設工							
	配水管布設替工						
		資材費					
			ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管(内面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装)				
			K形3種φ75mm×4m	本	3		TZ0121
			ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄異形管(内面ｴﾎﾟｷｼ粉体塗装)				
			K形曲管φ75×45°	個	4		TZ0302
			外部離脱防止丁字管				
			φ75×φ50	個	1		F
			VCｼﾞｮｲﾝﾄ ﾛﾝｸﾞ				
			φ75	個	2		TZZ0090
			ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄異形管押輪				
			酸化被膜ﾎﾞﾙﾄ･ﾅｯﾄφ75	組	4		TZ5011
			ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄異形管特殊押輪				
			酸化被膜ﾎﾞﾙﾄ･ﾅｯﾄφ75	組	4	発生品支給	
			識別マーカー				
			青色	本	3		F
		労務費					
			鋳鉄管吊込み据付工:機械				
			φ75以下	m	9.6		SZ0010
			メカニカル継手工				
			φ75以下　押輪	口	4		SZ0020
			メカニカル継手工				
			φ75以下　特殊押輪	口	4		SZ0020
			鋳鉄管切断工(エンジンカッター)				
			φ75	口	4		SZ0455
			硬質塩化ビニル管切断工				
			撤去管φ75	口	2		SZ0500
			管明示テープ工:鋳鉄管				
			φ75×4000	m	9.6		SZ0150
			管明示シート工				
			W150㎜×50m　2倍	m	8.5		SZ0160
			ポリエチレンスリーブ被覆工				
			φ75以下	m	9.6		SZ0120
			洗管工				
				回	1		V
			通水試験工				
				m	9.6		SZ1011
	排泥弁工						
		資材費					
			耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管				
			φ50×4m	本	1		TZ2156
			塩ビ製継手				
			HIエルボφ50	個	3		TZ3116
			弁筐関連資材				
			仕切弁継足棒 L-1500	本	1	発生品支給	
			口環付ﾈｼﾞ式弁筐(ｶﾗｰ･FCD製･頭部φ300)				
			H=810~1260	個	1	発生品支給	
			弁筐座台(丸型再生ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製)				
			H=50	個	1	発生品支給	
			弁基礎用底版(角形ｺﾝｸﾘｰﾄ製)				
			W500×D300×H60	個	1	発生品支給	

数　量　総　括　表

工種区分	工　種	種　別	細　　別	単位	数 量	特記事項	
			塩ﾋﾞ管用両受型ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁 φ50	基	1		TZZ0785
		労務費					
			硬質塩化ビニル管据付工 φ50	m	4.0		SZ0300
			硬質塩化ビニル管切断工 φ50	口	3		SZ0500
			TS継手工 φ50	口	3		SZ0310
			仕切弁設置工(縦・横型):人力 φ50	基	1		SZ0570
			ねじ式弁筐設置工	箇所	1		SZ0690
	不断水遮断弁工						
		資材費					
			口環付ﾈｼﾞ式弁筐(ｶﾗｰ・FCD製・頭部φ300) H=705~905	個	1	発生品支給	
			弁筐座台(丸型再生ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製) H=50	個	1	発生品支給	
			弁基礎用底版(角形ｺﾝｸﾘｰﾄ製) W500×D300×H60	個	1	発生品支給	
			不断水簡易バルブ設置工事 VP用 φ75 材料費	個	1		TZZ0183
		労務費					
			ねじ式弁筐設置工	箇所	1		SZ0690
			不断水簡易ﾊﾞﾙﾌﾞ設置工事 VP用 φ75 工事費	箇所	1		TZZ0184

交 通 誘 導 警 備 員 算 出 根 拠 表

名称	規格1 規格2	単位	数量	日当り作業量	作業日数 集計1	作業日数 集計2	作業日数 集計3	作業日数 集計4	作業日数 集計5	備考	コード
本工事費											X1000
道路改良		式	1								Y100H002672
道路土工											Y211Y002677
掘削工		式	1		2						Y320B000046
掘削		m3	40.1								Y440R001091
掘削	土砂 小規模(標準)	m3	1.0	37	1.1						SPA101
法面整形工					1						Y3258002692
法面整形(切土部)		m2	67.1								Y4408002693
法面整形	切土部 現場制約なし	m2	1.0	140	0.5						SPA301
残土処理工					2						Y3205002695
整地		m3	91.6								Y45W5000020
整地	残土受入れ地での処理	m3	1.0	434	0.2						SPA109
土砂等運搬		m3	91.6								Y45W5000021
土砂等運搬	標準 ﾊﾞｯｸﾎｳ;山積0.45m3(平積0.35m3)	m3	1.0	71	1.3						SPA105
法面工											Y211R002717
植生工					1						Y320O002718
植生シート		m2	67.1								Y44AQ002722
法面工(植生マット・シート工)(材料含)	植生シート工　肥料袋無　標準品 S3(施工規模 250m2未満)	m2	1.0	250	0.3						S7044
排水構造物工											Y2121002865
作業土工					3						Y320B002879
床掘り		m3	124.2								Y45W5000143
床掘り	土砂 平均施工幅1m以上2m未満	m3	1.0	150	0.8						SPA161
埋戻し		m3	65.4								Y45W5000144
埋戻し	小規模 土砂	m3	1.0	40	1.6						SPA181
側溝工		式	1		8						Y3326
プレキャストU型側溝(Ⅲ-A-i-400A)		m	181.4								Y4020
排水構造物工(U型側溝)(材別)	L=2000mm 1000kg/個以下 時間的制約を受けない 再利用撤去無	m	1.0	43	4.2						S7140
側溝蓋(Ⅷ-C-g-400)	ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋、Ⅷ-C-g-400	枚	327.0								Y4020
排水構造物工(蓋版)(材別)	40を超え170kg/枚以下 時間的制約を受けない	枚	1.0	120	2.7						S7142
側溝蓋(Ⅷ-C-a-400S)	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋、Ⅷ-C-a-400S	枚	18.0								Y4020
排水構造物工(蓋版)(材別)	40を超え170kg/枚以下 時間的制約を受けない	枚	1.0	120	0.2						S7142
既設U型側溝撤去再設置	180×180	枚	3.9								Y4020
排水構造物工(U型側溝)(材別)	L=600mm 60kg/個以下 時間的制約を受けない 再利用撤去有	m	1.0	55	0.1						S7140
排水構造物工(U型側溝)(材別)	L=600mm 60kg/個以下 時間的制約を受けない 再利用撤去無	m	1.0	28	0.1						S7140
集水桝工		式	1.0		1						Y3020
1号集水桝		ヶ所	1.0								Y4020
現場打ち集水桝・街渠桝(本体)	18－8－40－60%高炉 0.65m3を超え0.69m3以下	箇所	1.0	2	0.5						SPA633
1号横断工											Y2121002865
作業土工					2						Y320B002879
床掘り		m3	34.2								Y45W5000143
床掘り	土砂 小規模	m3	1.0	32	1.1						SPA161
埋戻し		m3	16.2								Y45W5000144
埋戻し	小規模 土砂	m3	1.0	40	0.4						SPA181
整地		m3	16.2								Y45W5000155
整地	残土受入れ地での処理	m3	1.0	434	0.0						SPA109
土砂等運搬		m3	16.2								Y45W5000156
土砂等運搬	標準 ﾊﾞｯｸﾎｳ;山積0.45m3(平積0.35m3)	m3	1.0	71	0.2						SPA105
側溝設置工		式	1.0		2						Y3215002866
落蓋型側溝	B1000×H1600×L2000	m	6.0								Y4020
排水構造物工(U型側溝)(材別)	L=2000mm 2000を超え2900kg/個以下 時間的制約を受けない 再利用撤去無	m	1.0	23	0.3						S7140
コンクリート	小型構造物 ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設	m3	0.137	8	0.8						SPB401
型枠	一般型枠 均しｺﾝｸﾘｰﾄ	m2	0.20								SPB431
底打ちコンクリート		m3	0.3								Y4020
コンクリート	小型構造物 ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設	m3	1.0	8	0.0						SPB401
側溝蓋	B1000×L1000	枚	6.0								Y4020
落蓋型側溝蓋掘付費	B1000×L1000	m	1.0	120	0.1						V2000
取壊し工		式	1.0		1						Y3020
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し(有筋)		m3	5.3								Y4020
構造物とりこわし工(機械施工)	鉄筋構造物	m3	1.0	11	0.5						S7307
殻運搬処理	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(有筋構造物)	m3	5.3								Y4020
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋)構造物とりこわし 機械積込	m3	1.0	39	0.1						SPA961
処分費	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻(有筋)	式	13.2								Y4020
舗装切断		m	8.8								Y4020
舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下	m	1.0	203	0.0						SPD321
舗装版取壊し		m2	20.3								Y4020
舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 障害等なし	m2	1.0	484	0.0						SPD311
殻運搬処理	ｱｽﾌｧﾙﾄ塊	m3	0.8								Y4020
殻運搬	舗装版破砕 機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下)	m3	1.0	25							SPA961
汚泥運搬処理		m3	0.1								Y4020

交 通 誘 導 警 備 員 算 出 根 拠 表

名称	規格1 規格2	単位	数量	日当り作業量	作業日数 集計1	作業日数 集計2	作業日数 集計3	作業日数 集計4	作業日数 集計5	備考	コード
側溝清掃車運搬	運搬距離　12.2km	m3	1.0	9.6							S5200
処分費	ｱｽﾌｧﾙﾄ塊	t	1.9								Y4020
処分費	泥水	t	0.1								Y4020
舗装復旧工		式	1.0		1						Y3020
下層路盤工	RC-40　t=19cm	m2	15.6								Y4020
下層路盤（車道・路肩部）	全仕上り厚190mm 1層施工	m2	1.0	940	0.0						SPD005
上層路盤工	M-40　t=10cm	m2	15.6								Y4020
上層路盤（車道・路肩部）	粒度調整砕石 全仕上り厚100mm	m2	1.0	940	0.0						SPD009
表層工	再生密粒度As13　t=4cm	m3	15.6								Y4020
表層（車道・路肩部）	1.4m以上3.0m以下 平均仕上り厚40mm	m2	1.0	1300	0.0						SPD023
舗装工		式	1.0								Y2020
取付舗装工		式	1.0		1						Y3020
取付路盤工		m2	16.2								Y4020
下層路盤（車道・路肩部）	全仕上り厚100mm 1層施工	m2	1.0	940	0.0						SPD005
取付表層工		m3	16.2								Y4020
表層（車道・路肩部）	1.4m以上3.0m以下 平均仕上り厚40mm	m2	1.0	1300	0.0						SPD023
構造物撤去工		式	1								Y2020
舗装版取壊し工		式	1.0		1						Y3020
舗装切断		m	61.3								Y4020
舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下	m	1.0	203	0.3						SPD321
舗装版取壊し		m2	28.4								Y4020
舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 障害等なし	m2	1.0	484	0.1						SPD311
殻運搬処理	ｱｽﾌｧﾙﾄ塊	m3	1.1								Y4020
殻運搬	舗装版破砕 機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下)	m3	1.0	25	0.0						SPA961
汚泥運搬処理		m3	0.5								Y4020
側溝清掃車運搬	運搬距離　12.2km	m3	1.0	9.6	0.1						S5200
処分費	ｱｽﾌｧﾙﾄ塊	t	2.7								Y4020
処分費	泥水	t	0.6								Y4020
構造物取壊し工		式	1.0		1						Y3020
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し（無筋）		m3	1.2								Y4020
構造物とりこわし工（機械施工）	無筋構造物	m3	1.0	19	0.1						S7307
ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し（有筋）		m3	2.5								Y4020
構造物とりこわし工（機械施工）	鉄筋構造物	m3	1.0	11	0.2						S7307
殻運搬処理	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻（無筋構造物）	m3	1.2								Y4020
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし 機械積込	m3	1.0	48							SPA961
殻運搬処理	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻（有筋構造物）	m3	2.5								Y4020
殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋)構造物とりこわし 機械積込	m3	1.0	39							SPA961
処分費	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻（無筋）	式	2.8								Y4020
処分費	ｺﾝｸﾘｰﾄ殻（有筋）	式	6.3								Y4020
伐採工		式	1.0		1						Y3020
生垣撤去	H=2.0m	m2	59.0								Y4020
伐木・伐竹（伐木除根）	伐木(人力施工:密)(50本/100m2以上)	m2	1.0	433	0.1						SPC201
集積積込み		m2	59.0								Y4020
集積積込み（機械施工）（伐木除根）	除根作業あり	m2	1.0	590	0.1						SPC207
運搬処理	樹木	m3	35.4								Y4020
運搬（伐木除根）	機械施工 除根作業あり	m3	1.0	54							SPC213
処分費	樹木	t	2.4								Y4020
付帯工事		式	1.0								Y2020
水道管切廻し		式	1.0		2						Y3020
水道管切廻し		式	1.0								Y4020
配水管布設替工		式	1.0								Z0004
				合計　（日） 合計(変更)(日)	30						

交通誘導警備員　**60**

特 記 仕 様 書

工 事 番 号：　第　2025000706　号

路 線 河 川 名：　金沢下北高平線　線・筋

工　事　名：　側溝新設事業排水路整備（金沢下北高平線）工事

工事施工箇所：　南相馬市原町区下北高平字北山　地内外

１　本工事の施工にあたっては、「共通仕様書 土木工事編（令和７年４月１日改正）」に基づき実施しなければならない。

２　本工事の施工にあたり、該当する項目は、□としている箇所である。

ただし、以下については、全ての工事に該当する項目である。

・第４章　情報共有システム・~~遠隔臨場~~
~~・第５章　労働者確保に関する積算方法の試行工事~~
~~・第６章　快適トイレの設置（災害復旧工事は除く）~~
・第７章　週休２日確保モデル工事等
~~・第８章　建設キャリアアップシステム活用工事~~
~~・第９章　ふくしまＭＥ資格取得者の現場活用~~
~~・第２３章　法定外の労災保険の付保~~
・第２４章　異常気象時における現場状況の報告
・第２５章　再生資源利用計画書
・第２６章　再生資源利用促進計画書
・第２９章　その他

３　第２章～第６章、第１５章～第２２章が適用される場合は、具体の内容を、福島県技術管理課ホームページに掲載しているので、必ず確認すること。

※　福島県ホームページ＞組織でさがす＞技術管理課＞特記仕様書

４　本特記仕様書は、共通仕様書に優先する。

５　設計図書として扱う図面は以下（別紙）のとおりとする。

図　面　名	図面番号	葉数	適　用
平面図	1	1	
縦断図	2	1	
標準横断図	3	1	
横断図	4～5	2	
１号横断工図	1	1	
集水桝工図	1	1	
舗装工展開図	1	1	
取壊し工平面図	1	1	

計	全　９　葉		

6　以下（別紙）の図面は参考図とする。

図　面　名	図面番号	葉数	適　用
配水管布設替工図	1	1	
計	全　１　葉		

7　本工事の施工にあたって、資機材及び労働者の調達に時間を要することが判明し、受注者から協議があった場合は、工事の一時中止及び工期の変更について検討し、決定するものとする。

8　設計図書に基づき監督員が受注者に指示した書面及び受注者が提出し監督員が承諾した書面は、設計図書とする。

9　設計変更に係る業務の円滑化を図るためのツールとして「土木工事請負契約における設計変更ガイドライン（総合版）※」（福島県土木部）を活用すること。
※技術管理課ホームページ参照

南相馬市

□第１章　一般共通事項

□１　下記の規制区域に該当するため、監督員と協議のうえ、関係官公庁に対して緊密な連絡をとり、協調を保つものとする。許可関係等がある場合には、監督員と協議のうえ、着手するものとする。

１）国有・民有保安林	□有 ・	□無
２）鳥獣保護区域	□有 ・	□無
３）国立・県立公園区域	□有 ・	□無
４）鉄道近接区域	□有 ・	□無
５）その他（　　）	□有 ・	□無

□２　施工区域内の地下埋設設備の確認について

受注者は、当該工事を実施するにあたり、「建設工事公衆災害防止対策要綱 第５章 埋設物（共通仕様書 土木工事編Ⅲ）」を遵守し、埋設物管理者に対し地下埋設物有無の確認の後に着手すること。

□３　福島県の絶滅のおそれのある野生生物の生息区域との関係　　□有 ・ □無

有の場合は、監督員と施工方法、施工時期、保護対策等について綿密な打合せを行うこと。

~~☑４　河道掘削に伴う工事測量~~

~~河道掘削工事にあたっての工事着手時の測量については、伐採、伐開除根、表土剥ぎ等を行った上で実施すること。~~

~~**☑第２章　フレックス工事**~~

~~（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）~~

~~本工事はフレックス工事であり、受注者は発注者が示した工期までの間で、工事の始期及び終期を任意に設定できる工事である。~~

~~**☑第３章　準備期間確保工事**~~

~~（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）~~

~~本工事は準備期間確保工事であり、受注者は契約締結日から準備期間（〇〇日間）内に着工日を任意に設定できる工事である。~~

第４章　情報共有システム~~、遠隔臨場~~

（本章はすべての工事に該当する）

~~（詳細は技術管　理課ホームページを参照のこと）~~

情報共有システム~~及び遠隔臨場~~について、~~実施できない特段の理由等がある場合は、~~受発注者間の協議を行ったうえで実施の可否を決定する。

情報システム実施の可否にかかわらず、本工事の提出書類については、可能な範囲で電位媒体により納品を行うものとする。

情報共有システム実施は、南相馬市建設工事情報システム実施要領によること。

~~**第５章　労働者確保に関する積算方法の試行工事**~~

~~（本章はすべての工事に該当する）~~

（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）

□１　労働者確保に関する積算方法の試行工事

本工事は、「労働者確保に関する積算方法の試行工事」である。

共通仮設費（率分）に占める実績変更対象間接費（労働者送迎費、宿泊費、借上費）の割合：＿＿＿＿＿％

現場管理費（率分）に占める実績変更対象間接費（募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用）の割合：＿＿＿＿＿％

□２　労働者確保及び労働者宿舎設置に関する積算方法の試行工事

本工事は、「労働者確保及び労働者宿舎設置に関する積算方法の試行工事」である。

共通仮設費（率分）に占める実績変更対象間接費（労働者送迎費、宿泊費、借上費、労働者宿舎の維持・補修に要する費用）の割合：＿＿＿＿＿％

現場管理費（率分）に占める実績変更対象間接費（募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用、租税公課）の割合：＿＿＿＿＿％

第６章　快適トイレの設置

（本章は災害復旧工事を除くすべての工事に該当する）

（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）

本工事は、快適トイレ設置の対象工事である。

設置の可否については、現場環境（工事期間、周辺環境、労働者配置状況等）を踏まえ、あらかじめ受発注者協議を行い、決定すること。

第７章　週休２日確保モデル工事等

（本章はすべての工事に該当する）

（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）

本工事は、「福島県土木部週休２日等工事試行要領」に定める工事のうち、☑としている箇所の対象工事である。

☑「週休２日確保モデル工事（発注者指定型）」　☑月単位　□通　期

□「週休２日確保交替制工事（発注者指定型）」　□月単位　□通　期

□「完全週休２日モデル工事（発注者指定型）」

なお、「週休２日確保モデル工事（発注者指定型）」及び「週休２日確保交替制工事（発注者指定型）」において、受注者が「月単位の４週８休以上」を希望する場合、受発注者協議の上で変更することができる。

また、本試行対象外工事であっても、受注者が週休２日等の実施を希望する場合は、受発注者協議の上で対象とすることができる。

第８章　建設キャリアアップシステム活用工事

（本章はすべての工事に該当する）

１　本工事は、『福島県土木部発注工事等における建設キャリアアップシステム活用工事実施要領』の対象工事である。

２　受注者は実施要領に定める事項について遵守しなければならない。

（※なお、実施要領は技術管理課ホームページ参照）

~~第９章　ふくしまＭＥ（メンテナンスエキスパート）資格取得者の現場活用~~
~~（本章はすべての工事に該当する）~~
~~（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）~~

□第１０章　総　　則

□１　施工計画書

工程管理は　バーチャート　により行うものとする。
なお、施工計画書作成にあたっては、「施工計画書作成の手引き（土木工事編）」（技術管理課ホームページ参照）を参考にすることができる。

□２　工事用地等の使用

□１）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿作業に係るヤードとして、別添「＿＿＿＿＿＿図」による土地を使用すること。（土地の使用は可能である。）

□２）使用にあたっての条件、制限等

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

□３　関連工事

１）工 事 名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
２）路河川名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿線・筋
３）施工箇所：＿＿＿＿市・郡＿＿＿＿町・村　大字＿＿＿＿字＿＿＿＿地内
４）注意・指示事項：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

□４　支給材料及び貸与品

支給材料及び貸与品、またその引き渡し場所等については、下記のとおりとする。

支給品目：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　数量：＿＿＿＿＿＿
引渡時期：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
引渡場所：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

□５　工事現場発生品

１）工事現場発生品及びその引き渡し場所は、下記のとおりとする。

発生品目：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
引渡時期：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
引渡場所：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

２）従来施設の撤去により発生した＿＿＿＿＿＿は、＿＿＿＿＿＿＿＿材料として再使用するものとし、使用にあたってはあらかじめ監督員の数量検査を受けなければならない。

☑６　建設副産物処理

□１）下記の建設副産物は、現地において下記のとおりリサイクル処理するものとする。

建設副産物名	処理方法等	備考

☑２）下記の建設副産物は、下記に示す方法で処理するものとする。ただし、施設は指定するものではない。

建設副産物名	処理方法	積算上の施設※
アスファルト	(再資源化・中間・最終)施設へ搬入	加藤道路㈱
無筋コンクリート	(再資源化・中間・最終)施設へ搬入	加藤建材工業㈱
有筋コンクリート	(再資源化・中間・最終)施設へ搬入	加藤建材工業㈱
泥水	(再資源化・中間・最終)施設へ搬入	㈱モンマ
樹木	(再資源化・中間・最終)施設へ搬入	斎藤運輸工業㈱

※　積算上の施設は積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではなく、ここに明示した施設と異なる施設に処理する場合は、監督員の承諾を得ることとするが、設計変更の対象とはしない。なお、受入拒否等により処理施設の条件が異なる場合は、その記録をもって設計協議の対象とする。

□３）金属くずについては、簡単に分別可能であり、明らかにスクラップとして売却処分できるものについては、協議の対象とする。

□７　中間検査に関すること

１）以下の対象工事（工種）の「有」について中間検査を実施する。毎月の履行報告時に実施予定時期を報告すること。なお、①～④に複数該当する場合には、中間検査の回数について監督員と協議すること。

対象要件	対象工事（工種）	実施時期	備考（具体的な工種等）
①竣工検査時に確認困難な工事(工種)（足場、仮設を撤去すると現場に行けなくなる等。）	□有・□無	・対象工種が完成してから足場、仮設等を撤去するまでの間。	
②不可視部の工事（工種)で２）に示すもの	□有・□無	・不可視部の施工が完了、又は概ね完了した時。 ・鉄筋構造物については、配筋が完了、又は概ね完了した時。	２）に示す工事（工種）
③工期が１年以上となる工事。	□有・□無	・協議による。	
④その他、発注者が必要とする工事(工種)	□有・□無	・製作、仮組みが完了した時。 ・その他、発注者の指示による。	３）に示す工事（工種）

注１）監督員は、有無に○印を付けるとともに、備考に工種を記入すること。
また必要に応じ実施時期を修正すること。

２）②不可視部の工事（工種）とは次のものとする。

□杭基礎、□場所打杭、□深礎杭、□ケーソン基礎、□地盤改良
□捨石均し、□被覆・根固め均し、□井筒潜函基礎、□山腹基礎床掘
□上層路盤（1,000m2 以上の工事）

□現場打ちのボックスカルバート、擁壁（鉄筋 Co）
□橋台・橋脚、□現場制作ＰＣ橋、□床版
□水門・樋門
□ブロック製作、ケーソン製作
□覆工 Co の前段工事
□その他【　　】

３）④その他、発注者が必要とする工種（工事）とは次のものとする。
□桁の仮組立
□水門扉、□可動堰、□スノーシェッド、□ポンプ施設、□除塵機、□桟橋
□堰堤（Co、盛土）
□堰（工場制作）、ラバーダム
□地盤変動等の影響が予想される掘削
□仮橋、路面覆工(一般交通に供し、指定仮設として設置されるもの)
□仮堤防（本堤防と同等の機能を求める仮堤防）
□その他【　　】

□８　監督員による確認及び立会等

監督員による検査及び立会は、共通仕様書によるもののほか下記のとおりとする。

検査及び確認事項	工種・箇所等	段階(確認時期)	備　考

□９　施工管理

管理基準等については共通仕様書によるが、下記の工種については下記の規格値等で管理するものとする。

□１）出来形管理

工　種	測定項目及び規格値	測定基準	測定箇所

□２）品質管理

工種及び種別	試験項目及び試験方法	規格値	試験基準等

□３）写真管理

工　種	撮影項目	撮影頻度	提出頻度

□ 10　コンクリートの圧縮強度試験

「共通仕様書 土木工事編Ⅱ」の「品質管理基準及び規格値」における「１セメント・

コンクリート」によるもののほか、下記の構造物に使用するセメント・コンクリートの圧縮強度試験のうち、材齢 28 日圧縮強度試験は公的試験機関で実施すること。

構造物名	コンクリートの品名等	摘　　要

□ 11　用地取得及び支障物件

□１）工事区域内の用地確保（□　済　・□　一部未了　）

工事区域内に用地の確保が未了である場合は、監督員と緊密な連絡を保ち、解決に協力すること。

【用地取得見込時期】　　年　　月（□上旬　□中旬　□下旬）

□２）工事支障物件：　□有　・　□無

【支障物件移転予定時期】　　年　　月（□上旬　□中旬　□下旬）

☑ 12　工事の履行報告（工程会議）

工事着工後、履行状況については、翌日５日まで　に監督員に提出すること。

なお、休日の場合は、日程について監督員と協議すること。

また、協議様式は、監督員の指示によること。

☑ 13　交通誘導員の配置

交通誘導員は　作業時　　に　２　人 配置する。

交替要員は　　人 配置する。

なお、詳細については施工計画書において監督員と協議すること。

☑ 14　作業工程

１）　全ての　　作業は、　昼間作業　とし、時間帯は　８　時 30 分～　17　時までとする。

２）作業工程における注意事項：

３）現道の使用規制について

現道は、　第三者車両が速やかに通行できるよう　本工事を施工するものとする。

４）工事を施工しない日　　□　有　・　□　無　　年　　月　　日

工事を施工しない時間帯　　□　有　・　□　無　　：　～　：

「工事を施工しない時間帯」は、

□　工期全体　　□　上記「工事を施工しない日」　　□　　に適用する。

□ 15　仮設

□１）指定仮設の有無　　□　有　・　□　無

□２）指定仮設

仮設物名	規格・寸法・構造	資料の有無	備考

□３）下記の仮設物は工事完了後も工事現場に存置すること。

仮設物名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　数量等：＿＿＿＿＿＿＿＿

存置期間：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

□ 16　工事における現場環境改善

当該工事で実施する現場環境改善は、下表の計上費目別に指定する項目数を、実施する内容から選択して実施すること。

計上費目	実施する項目数	実施する内容（率計上分）
現場環境改善（仮設備関係）	（　　）	① 用水・電力等の供給設備 ② 緑化・花壇 ③ ライトアップ施設 ④ 見学路及び椅子の設置 ⑤ 昇降設備の充実 ⑥ 環境負荷の低減
現場環境改善（営繕関係）	（　　）	① 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） ② 労働者宿舎の快適化 ③ デザインボックス(交通誘導警備員待機室) ④ 現場休憩所の快適化 ⑤ 健康関連設備及び厚生施設の充実等
現場環境改善（安全関係）	（　　）	① 工事標識・照明等安全施設のｲﾒｰｼﾞｱｯﾌﾟ(電光式標識等) ② 盗難防止対策(警報器等) ③ 避暑(熱中症予防)・防寒対策
地域連携	（　　）	① 完成予想図 ② 工法説明図 ③ 工事工程表 ④ デザイン工事看板(各工事ＰＲ看板含む) ⑤ 見学会等の開催（イベント等の実施含む） ⑥ 見学所(ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ)の設置及び管理運営 ⑦ パンフレット・工法説明ビデオ ⑧ 地域対策費（地域行事等の経費を含む） ⑨ 社会貢献

☑ 17　工事名標示板

本工事には、県産木材を利用した工事名標示板を　２　基設置すること。

□ 18　六価クロム溶出試験（及びタンクリーチング試験）

本工事は、「六価クロム溶出試験（及びタンクリーチング試験）」の対象工事であり、下記に示す工事について六価クロム溶出試験（及びタンクリーチング試験）を実施し、試験結果（計量証明書）を提出するものとする。

なお、試験方法は、セメント及びセメント固化剤を使用した改良土等の六価クロム溶

出試験要領によるものとする。

また、土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合は、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

（六価クロム溶出試験対象工種及び検体数）

工　　種	工　　法	配合設計段階	施工後段階
		検体	検体
		検体	検体
		検体	検体

（タンクリーチング試験対象工種及び検体数）

工　　種	工　　法	検体数	備　　考
		検体	
		検体	
		検体	

□第１１章　材　　料

□１　設計図書に指示されていない工事材料は下記の仕様による。

□１）一般資材

種別	材料名	記号等	品種・規格等	備考

※ 設計図書に規格等の明示のないものを記載する。

□２）再生材

材料名	規格等	使用箇所	備考

※ 再生骨材・再生アスファルト合材については、運搬距離４０㎞の範囲までの再資源化施設についてストック量を調査し使用することとする。これにおいても再生材が入手不可能であった場合は、発注者と受注者が協議を行った上で新材を使用することができるものとし、設計変更の対象とする。

□２　下記の工事材料については、受注者の責任においてその外観及び品質証明書等を照合して確認した資料、見本等を事前に監督員に提出し確認を受けること。

また、工事材料のうち試験を行わなければならない材料は下記のとおりとする。

種別	材料名	記号等	品種・規格等	備考
				確認資料・見本 ・試験（　　）
				確認資料・見本 ・試験（　　）
				確認資料・見本 ・試験（　　）

※ 備考欄で種別を選択する。（試験のカッコ書きは試験方法を記入する）

□３　下記資材については、以下の調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域等以外から調達せざるを得ない場合又は調達地域内からの購入である場合においても設計価格と乖離がある場合には、事前に監督員と協議するものとする。また、購入費用及び輸送費等に要した費用について、証明書類（実際の取引伝票等）を監督員に提出するものとし、その費用について設計変更の対象とする。

資　材　名	規　　格	調達地域等

□第１２章　一 般 施 工

□１　建設発生土の処理

□１）他工事への流用：　□　有　・　□　無

工事名：＿＿＿＿＿＿＿＿　路河川名：＿＿＿＿＿＿＿＿

施工場所：＿＿＿＿市・郡＿＿＿＿町・村　大字＿＿＿＿字＿＿＿＿地内

運搬距離　＿＿＿km

□２）搬出先

受入場所：＿＿＿＿市・郡＿＿＿＿町・村　大字＿＿＿＿字＿＿＿＿地内

運搬距離　＿＿＿km

なお、受注後、搬出場所や受け入れ費用に変更の必要が生じた場合は、協議により変更すること。協議時には、変更する搬出先が都市計画法（開発許可）、森林法（林地開発）、砂防法、急傾斜地崩壊防止法および盛土規制法（改正宅地造成等規制法）などの諸法令違反ではないことのわかる資料を監督員に提出すること。

搬出後は、最終形状、数量計算書、写真及び運搬距離等の資料を監督員に提出すること。

□２　他工事からの流用土

□１）他工事からの流用：　□　有　・　□　無

① 工事名：＿＿＿＿＿＿＿＿　路河川名：＿＿＿＿＿＿＿＿

② 指定・施工場所：＿＿＿＿市・郡＿＿＿＿町・村　大字＿＿＿＿字＿＿＿＿地内

③ 運搬の有無：　□　有　・　□　無　（＿＿＿＿ｋｍ）

④ 品　　質：＿＿＿＿＿＿＿＿

品質の確認試験（＿＿＿＿＿＿）については、＿＿＿＿＿＿で実施する。

□３　購入土等

□１）購入土等の有無：　□　有　・　□　無

□２）購入土等の種類：□購入土　・　□岩ズリ　・　□その他（　　）

□３）購入土等がある場合は、受注者は施工計画書に購入先を記載して、監督員に提出する。

□４）購入土等が１工事あたり１，０００m3以上の場合は、受注者は、工事で使用する

購入土等を現場に搬入する前に、購入先の採取計画に関する認可書の写しを監督員に提出し、監督員の確認を受けなければならない。

□４　建設汚泥（泥土）の処理

□１）汚泥（泥土）は、＿＿＿＿＿＿による改良を行い、＿＿＿として再利用する。

□２）改良目標は、国土交通省令の土質区分基準における＿＿＿＿＿＿＿＿とする。

□３）改良材料等の種類や添加量については設計図書によるものとするが、受注者は各種試験を行い改良目標が得られるような添加量を検討し、監督員と協議するものとする。なお、監督員の承諾が得られ、添加量が当初設計と異なる場合は変更設計の対象とする。

□４）改良土の品質管理及び改良土を使用した施工の施工管理基準は設計図書によるものとするが、設計図書に示されていない場合は監督員と協議するものとする。

□５　レディーミクストコンクリートの養生

□１）レディーミクストコンクリートの養生は、使用するコンクリートの特性をよく理解し、コンクリート種別、打設時期の日平均気温、打設環境に応じて適切な養生を行うものとし、共通仕様書に示す養生期間を遵守すること。また、コンクリートの運搬、打設計画、養生等の方法について、施工計画書に具体的に明記すること。

本工事におけるレディーミクストコンクリートの養生について検討する項目は以下の☑印のとおり。

コンクリート種別	□　普通ポルトランドセメント	
	□　混合セメントＢ種	☑高炉セメントＢ種 1) □フライアッシュセメントＢ種 □シリカセメントＢ種
	□　早強ポルトランドセメント	
気象条件	□　暑中コンクリート(日平均気温が２５℃を超える場合)	
	□　寒中コンクリート(日平均気温が４℃以下になる場合)	
	構造物の露出状態	□連続して、あるいはしばしば水で飽和される部分 2) □普通の露出状態

1)　「高炉セメントコンクリートの特性と施工に関する留意点」は技術管理課ホームページ参照

http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025b/kouro-semento.html

2)　水路、水槽、橋台、橋脚、擁壁、トンネル覆工等で水面に近く水で飽和される部分、及びこれらの構造物の他、桁、床版等で水面から離れてはいるが、融雪、流水、水しぶき等のため水で飽和される部分。

□６　塗装工

□１）塗装回数は下塗＿＿＿回、中塗＿＿＿回、上塗＿＿＿回とする。

□２）塗料の種類は下記のとおりとする。

種別及び箇所	細　　別	塗料の種類	目標塗膜厚(μm)
工場塗装	下塗り１層		
	下塗り２層		
現場塗装	中塗り１層		

	中塗り２層		
	上塗り１層		
	上塗り２層		

□３）素地調整（ケレン）は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿とする。
□４）詳細の色彩等については監督員と協議のこと。

□７ 現場打ちの鉄筋コンクリート構造物施工
□１）受注者は、現場打ちの鉄筋コンクリート構造物の施工にあたっては、「流動性を高めた現場打ちコンクリートの活用に関するガイドライン」により施工する。
□２）受注者は、現場打ちの鉄筋コンクリート構造物の施工にあたり、設計図書等に「機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン」及び「現場打ちコンクリート構造物に適用する機械式鉄筋継手工法ガイドライン」を採用していない場合は、採用についての協議を行うことが出来る。

□第１３章　その他施工

□１　工法の指定

工法は下記によるものとする。なお、現場条件等により、これにより難い場合は監督員と協議のこと。

工　種	指　定　工　法	備考

□２　建築物又は工作物の解体

石綿障害予防法規則に基づき、解体等の作業における保護具の装着、湿潤を保つ措置を行う費用、石綿の使用の有無を分析によって調査した場合に要する費用については、当初設計では計上していないため、それらに要した費用については、発注者と受注者が協議の上、設計変更で計上するものとする。

また、石綿の使用の有無を分析によって調査する場合の工期の変更についても、福島県工事請負契約約款の関係条項に基づき適切に変更することとする。

□３　重建設機械分解・組立及び輸送に要する費用

下記の機械については、分解・組立及び輸送に要する費用を計上しているが、受注者が施工計画で分解・組立を必要としない機種・規格を選定し、使用した場合においても、設計変更の対象としない。

工　　種	機　　種	規　　格

□４　ポリマー改質Ⅱ型アスファルト混合物の使用　**※ 車道および側帯の舗装新設、改築および大規模な修繕（延長 200m 以上の全層打ち換え）を行う工事でポリマー改質Ⅱ型アスファルト混合物を使用する場合に記載**

本工事は表層材料に耐流動対策混合物としてポリマー改質Ⅱ型アスファルト混合物を使用する工事であり、塑性変形輪数の基準値の適用区分となる道路区分等は以下のとおりである。（該当するものに「○」）

道路区分	舗装計画 （単位１日につき台）	交通量塑性変形輪数 （単位１ﾐﾘﾒｰﾄﾙにつき回）	該当欄
第１種、第２種 第３種第１級及び第２級 第４種第１級	3,000 以上	3,000	
	3,000 未満	1,500	
その他		500	
交差点等耐流動対策混合物として使用		1,500	

□５　植栽工　※ 植栽に係る直接工事費が５０万円以上となる工事の場合に記載

本工事で植栽する樹木等については、植樹保険に加入しなければならない。

また，工事完成届提出時までに，植樹保険付保証明書を提出しなければならない。

□6　鋼橋桁の輸送に要する費用

鋼橋桁については、(例えば東京)からの輸送に要する費用を計上しているが、受注者が施工計画書で示した鋼橋桁の製作場所が(例えば東京)より近距離である場合、設計変更の対象とする。

□第１４章　ふくしま公共施設等ユニバーサルデザイン指針に基づく工事箇所

「共通仕様書 土木工事編Ⅰ」第１編第１章総則「1-1-3「ふくしま公共施設等ユニバーサルデザイン指針」の取扱い」の規定について、本工事では、特に以下の基本方針の レ印に該当するものについてユニバーサルデザインに配慮した施工をおこなうものとする。

□１　工事を行う基本方針（指針Ｐ１３）

基本方針１　すべての人が　快適　に利用できる施設

□① 特定の人が特別扱いされたり、いやな思いをすることのない施設
□② 右利き、左利きに対応した施設
□③ 利用方法や利用状況の説明が効果的に行われる施設
□④ 視覚、聴覚、触覚など多様な手段で、必要な情報が十分に提供される施設
□⑤ 補助器具や補助手段を効果的に活用できる施設
□⑥ 繰り返しの動作や、長時間にわたる肉体的負担が伴わない施設
□⑦ 利用場所に接近しやすく、利用する広さが適切な施設
□⑧ 重要なものがよく見えるよう、視線が確保されている施設
□⑨ 使用しようとする全てのものに容易に手が届く施設
□⑩ 少ない労力で効率的に、楽に使える施設
□⑪ 利用者に不自然な姿勢を強いない施設
□⑫ プライバシーに配慮された施設
□⑬ 天候や季節に左右されない施設

□⑭ 疲れたときに休むことができる施設

基本方針２　すべての人が　簡単　に利用できる施設

□① 使い方を直感的に理解できる施設
□② 利用者の理解力や言語能力の違いが問題にならない施設
□③ 必要な情報が容易にわかる施設

基本方針３　すべての人が　安全　に利用できる施設

□① 安全に対する配慮が等しく確保される施設
□② 危険や間違えやすい状況が発生しない施設
□③ 使用方法を間違えても重大な結果につながらない施設
□④ 注意が必要な操作において、不注意な操作を誘発しない施設
□⑤ 危険なときや使用方法を間違えたときは、注意や警告を発する施設
□⑥ 危険な部分が防護されている施設
□⑦ 四季を通じて安全な施設
□⑧ 災害時や不測の事態が生じても、安全に避難できる施設

基本方針４　さりげなく　美しい　施設

□① 色や形状などの印象が、利用者にとって抵抗感がなく、受け入れられやすい施設
□② 創意工夫された内容が、目立ちすぎず、さりげなくデザインされている施設
□③ 地域の特性を生かし、周辺の景観と調和した施設
□④ 自然や環境に配慮し、動植物にやさしい施設

基本方針５　どのような状況にも　柔軟　に対応できる施設

□① できる限り同じ手段で利用できる施設
□② 利用者に応じた使い方が選べる施設
□③ 利用者のペースに合わせることができる施設
□④ 情報がその重要さに応じて提供される施設
□⑤ 補助器具の使用や人的介助に十分な空間を提供できる施設

□２　特に重点をおいて工事する項目・箇所

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

□第１５章　記録保存の資料作成

（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）

□１　本工事は道路構造物の記録保存の対象工事である。
以下の資料を作成要領に基づき作成すること。
・道路構造物の記録保存資料

□２　本工事は道路舗装構成物の記録保存の対象工事である。
以下の資料、作成要領に基づき作成すること。
・道路舗装構成等の記録保存資料

□ 第１６章　１日未満で完了する作業の積算

（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）

本工事は、施工実施にあたり、作業量が１日未満で完了するものと見込まれ、施工パッケージ型積算基準と乖離が認められた場合に、「１日未満で完了する作業の積算」に基づき積算が出来る工事である。

□第１７章　施工箇所が点在する工事の積算

（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）

本工事は「施工箇所が点在する工事の積算方法」の対象工事である。

対象地区：○○工区（施工箇所○○、○○）、△△工区（施工箇所○○）、
□□工区（施工箇所□□）（ホームページではこれらを対象地区という）

（なお、積算上の親工区は、△△工区（施工箇所○○）とする。）

□第１８章　落橋防止装置の溶接施工等について

（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）

本工事において落橋防止装置の溶接施工等を行う際には、本章に基づき実施すること。

□第１９章　ＩＣＴ活用工事

（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）

１　本工事の発注方式は（　□受注者希望型　・　□発注者指定型　）である。

□２　ＩＣＴ活用工事（土工）

本工事は、「福島県土木部ＩＣＴ活用工事（土工等）実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について３次元データを活用する「ＩＣＴ活用工事（土工）」の対象工事である。

□３　ＩＣＴ活用工事（舗装工）

本工事は、「福島県土木部ＩＣＴ活用工事（舗装工）実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について３次元データを活用する「ＩＣＴ活用工事（舗装工）」の対象工事である。

□４　ＩＣＴ活用工事（浚渫工（港湾））

本工事は、「福島県土木部ＩＣＴ活用工事（浚渫工（港湾））実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について３次元データを活用する「ＩＣＴ活用工事（浚渫工（港湾））」の対象工事である。

□５　ＩＣＴ活用工事（土工 1,000㎥未満）

本工事は、「福島県土木部ＩＣＴ活用工事（土工 1,000㎥未満）実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について３次元データを活用する「ＩＣＴ活用工事（土工 1,000㎥未満）」の対象工事である。

□６　ＩＣＴ活用工事（小規模土工）

本工事は、「福島県土木部ＩＣＴ活用工事（小規模土工）実施要領」に基づき、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について３次元データを活用する「ＩＣＴ活用工事（小規模土工）」の対象工事である。

□第２０章　舗装の切断作業時に発生する排水の具体的処理について

（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）

~~**□第２１章　「総合評価方式（標準型・簡易型）における技術提案書に記載された事項の実施状況」の確認について**~~

~~（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）~~

□第２２章　熱中症対策に関する現場管理費補正及び工期の設定

（詳細は技術管理課ホームページを参照のこと）

１　本工事は、「土木工事における熱中症対策に関する試行要領」の対象工事である。

２　猛暑による作業不能日数

本工事は、猛暑による作業不能日数を次のとおり見込んでいる。

ⅰ）作業不能日数：●日間

ⅱ）上記ⅰ）は、環境省が公表する東北地方●●（福島）地点における WBGT 値（気温、湿度、日射・輻射を考慮した暑さ指数）過去５年分（令和●年～●年）について、本工事の工期に対応する期間（行政機関の休日に関する法律（昭和 63 年法律第 91 号）に定める行政機関の休日及び夏季休暇（３日）を除く。）において、８時から１７時の間に WBGT 値が３１以上となった時間を算定し、日数に換算したもの５年分を平均したもの。

ⅲ）気象状況により工期中に発生した猛暑による作業不能日数（当該現場における定時の現場作業時間において、環境省が公表する東北地方●●（福島）地点における WBGT 値が３１以上となり、かつ受注者が契約工事単位で全作業を中断し、又は現場を閉所した時間を算定し、日数に換算したもの（小数点以下 第一位を四捨五入する。））がⅰ）の日数から著しく乖離した場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。

第２３章　法定外の労災保険の付保

（本章はすべての工事に該当する）

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

受注者は、法定外の労災保険契約を締結したことを証明する書類（証券等の写し）を提出しなければならない。

第２４章　異常気象時における現場状況の報告

異常気象時の工事現場における対応について下記のとおりとする。

１　異常気象時等の対象

（１）大雨・洪水等の警報発令時

「工事現場の当該市町村」の気象警報を対象とする。

（２）震度５弱以上の地震時

「工事現場の当該市町村」の震度５弱以上を対象とする。

ただし、気象条件及び現場条件等を勘案し、別途、監督員から指示がある場合は震度４の場合も対象とする。

２　パトロール等の実施及び報告の内容について

① 作業中であれば、作業を中止し、現場内及び周辺の状況把握に努める。

② 休工中であれば、必要に応じ２名以上を構成員とする警戒班(巡視員)を出動させて巡回点検(パトロール)を実施する。

③ 天気予報であらかじめ異常気象が予想される場合は、事前に防災監視体制を配備し待機する。

④ 危険箇所が発見された場合は、すみやかに危険箇所に立ち入らないよう防護措置を講じ、その旨を標示する。また、現場状況を把握し、２次災害防止に努める。

⑤ 警報が解除され、作業が再開する前には、工事現場の地盤のゆるみ、崩壊、陥没等の危険がないか入念に点検する。

⑥ 地震及び津波が発生した後に，作業を再開する前には，建設物，仮設物，資機材，建設機械，電気設備及び地盤，斜面状況等を十分点検する。

⑦ 異常の有無にかかわらず、点検結果を監督員（連絡が取れない場合は、係長又は課長）に適宜に報告する。また、報告方法は、まず電話連絡し、その後別紙様式にて、ＦＡＸ又はメールする。

３　報告期限について

（１）大雨・洪水等の警報発令時

警報発令後１時間以内及び降雨等の状況等により適宜。

（２）震度５弱以上の地震時

地震発生後１時間以内。

(被害等が甚大でパトロールの実施が困難である場合などはこの限りでない)

（別紙様式）

○○○建設事務所　○○○部　○○課 ○○○ 行（FAX:024-○○○-○○○○）

施工に応じた点検項目を設定すること。
「路面の凹凸」
「強風で倒れる恐れのある看板」等。

記載例

異常気象時等現場点検結果報告書（例）

工事名	工第○○－４１３００－○○○○号　○○○○○○○○工事	
場　　所	市　　地内	
請負者	○○○○○㈱	
現場代理人	○○○○	
点検日時 （24時間表示）	開　始	令和○○年○○月○○日○○時○○分
	終　了	令和○○年○○月○○日○○時○○分

点検項目	異常の有無
○現場内の状況	
・法面の崩壊	無し
・法面の亀裂	有り（延長00m、法長00m）
・法面からの湧水	無し
・路面の陥没	無し
・仮設の設置状況	無し
・工事名看板、規制看板の設置状況	無し
・架空線の切断、電柱の転倒等	無し
・河川、水路の水位の上昇状況	無し
・土石流の発生	無し
・地すべりの発生	無し
○現場周辺の状況	
・法面の状況	無し
・路面の状況	無し
・流末排水の状況	無し
・雨量計の読み取り	000 ㎜
・土石流危険渓流の状況	無し
・砂防指定地の状況	無し
・急傾斜地崩壊危険区域の状況	無し
・地すべり危険区域の状況	無し
・その他異常の有無	無し

処置内容
・Ｎｏ．０～ Ｎｏ．１０左側、切土法面に亀裂発見したため、杭柵を施工し、ブルーシートを被せて応急処置を行った。

第２５章　再生資源利用計画書

（本章はすべての工事に該当する）

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令等に基づき、再生資源利用計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

第２６章　再生資源利用促進計画書

（本章はすべての工事に該当する）

１　受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥または建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令等に基づき、再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

２　受注者は、建設発生土の搬出先について、事前に当該工事の搬出先が盛土規制法など各種法令の許可状況等を満たしているか確認し、その結果を再生資源利用促進計画の添付資料（確認結果の現場掲示例※技術管理課ホームページ参照）として、工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

３　受注者は、建設発生土の搬出先に受領書（※技術管理課ホームページ参照）の交付を求め、その写しを５年間保存し、受領書の写しを完成図書に添付しなければならない。搬出先が県土木部の有償民間受入地の場合、受領書は「公共工事建設発生土の民間受入に関する試行要領」第 9 条の規定によるものとする。（※試行要領は技術管理課ホームページ参照）

４　受注者は、土壌汚染対策法の手続き状況を確認し、確認結果（確認結果の現場掲示例※技術管理課ホームページ参照）を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

~~☑第２７章　三者協議~~

~~本工事は、三者協議会実施要領の対象工事である。~~

~~☑第２８章　国土強靭化事業の取組に関する広報~~

~~本工事は国土強靭化事業の関連工事であるため、工事名標示板に「国土強靭化対策工事」の記載を行うこと。~~

~~記載方法については、下記を参照し監督員と協議すること。~~

工事名標示板のイメージ（例）

※主な工種等の記載に加え、枠内の記載を行う。

□第２９章　そ　の　他

（１）工事書類の簡素化について

１．本工事は福島県土木部における「工事に関する提出書類の簡素化ガイドライン」に基づき実施するものとする。

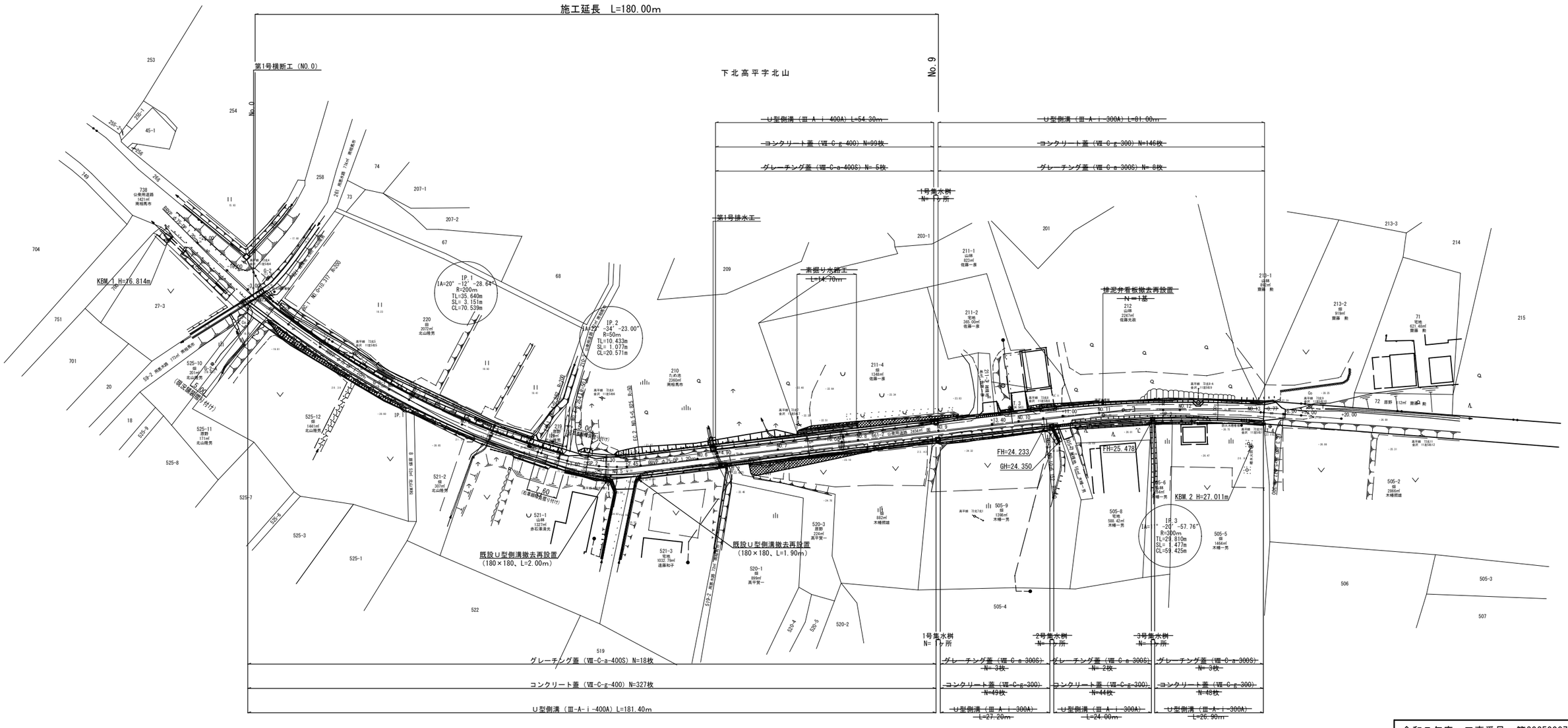
２．これに定められていないものは、監督職員と協議するものとする。

３．１号横断工の設置に伴い、水道管の布設替え工事を行うこと。

４．特注品（横断側溝）は製作に約２ヶ月を要するため早急に発注すること。

平　　面　　図

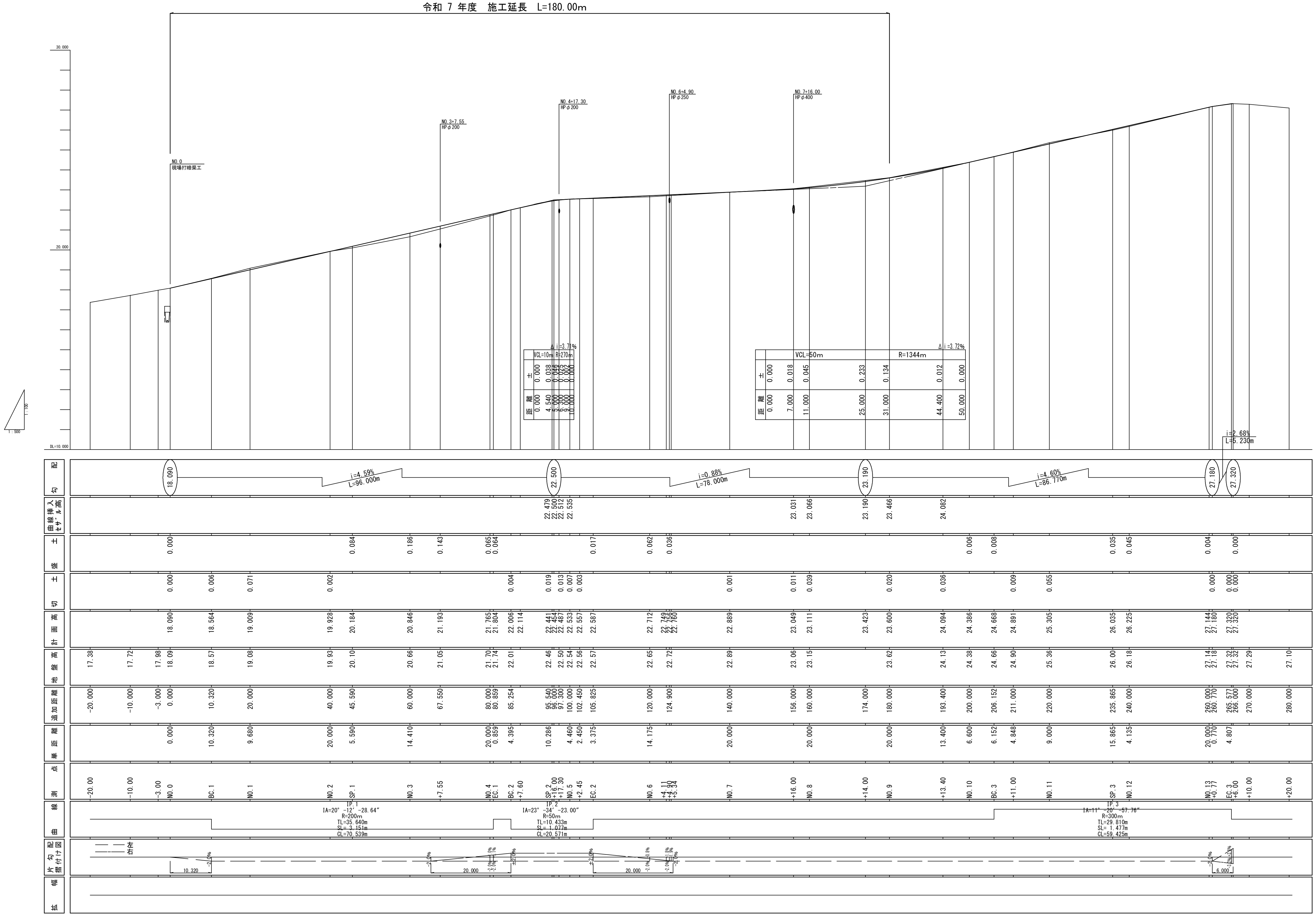
S=1:500



令和７年度　工事番号　第2025000706号			
市道 金沢下北高平線　　南相馬市原町区下北高平字北山 地内外			
側溝新設事業排水路整備（金沢下北高平線）工事			
平　　面　　図			
縮尺	1:500	図面全 9 葉の 1	
測量	(株) 第一開発コンサルタント	7 年 1 月 日	主任技術者
設計	(株) 第一開発コンサルタント	7 年 1 月 日	管理技術者
南相馬市役所			

縦　　断　　図

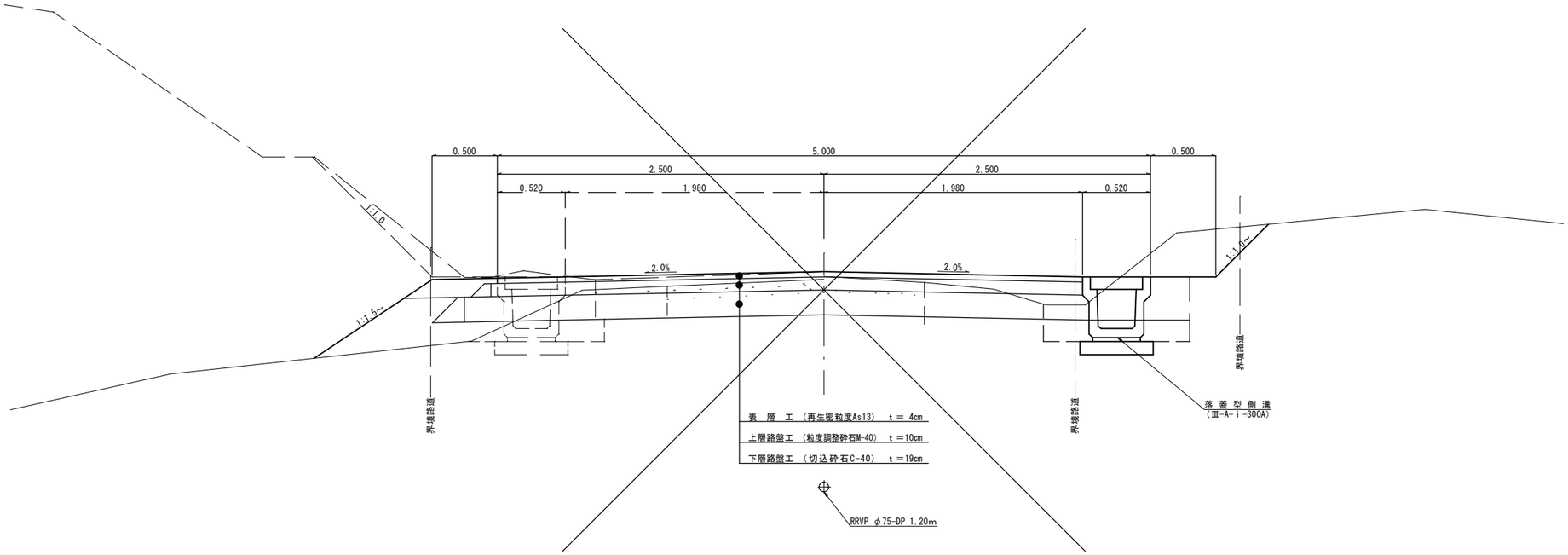
H=1:500
V=1:100

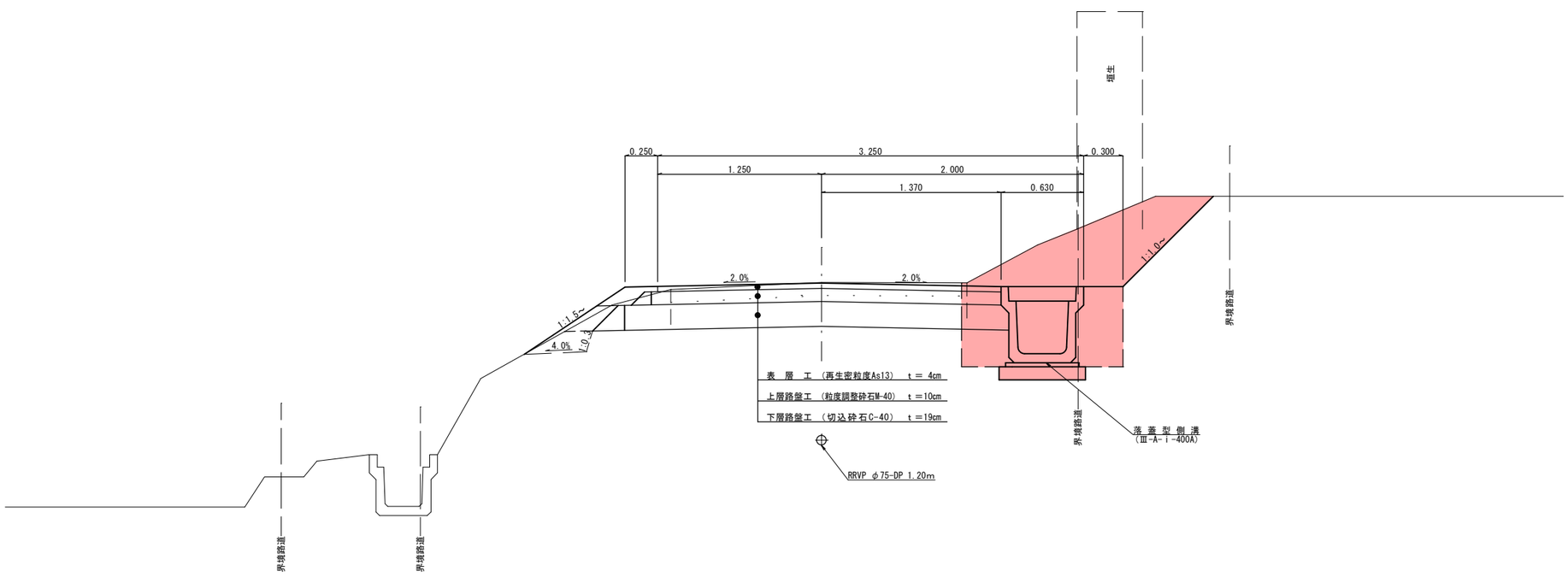


令和７年度　工事番号　第2025000706号	
市道 金沢下北高平線　南相馬市原町区下北高平字北山 地内外	
側溝新設事業排水路整備（金沢下北高平線）工事	
縦　　断　　図	
縮尺	H=1:500 V=1:100　図面全 9 葉の 2
測量	(株) 第一開発コンサルタント　7 年 1月　日　主任技術者
設計	(株) 第一開発コンサルタント　7 年 1月　日　管理技術者
南相馬市役所	

標 準 横 断 図

S=1：20

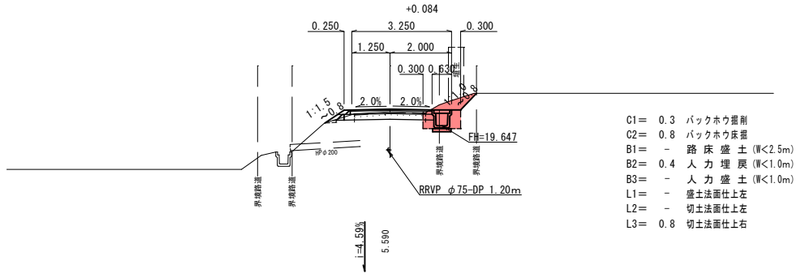




令和７年度　工事番号　第2025000706号					
市道 金沢下北高平線　　南相馬市原町区下北高平字北山 地内外					
側溝新設事業排水路整備（金沢下北高平線）工事					
標 準 横 断 図					
縮 尺	１：２０	図面全 9 葉の 3			
測 量	(株) 第一開発コンサルタント	７ 年 １月 日	主 任 技術者		
設 計	(株) 第一開発コンサルタント	７ 年 １月 日	管 理 技術者		
南 相 馬 市 役 所					

SP. 1

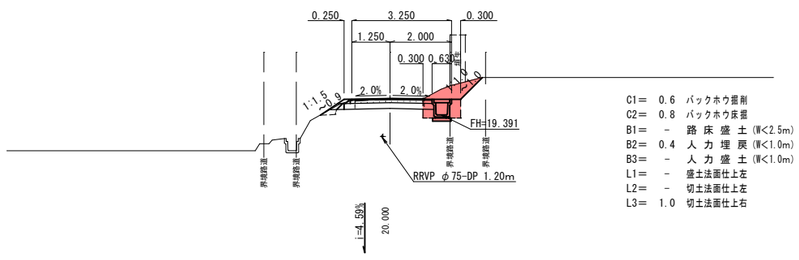
GH=20.10
FH=20.184
+0.084



C1= 0.3 バックホウ掘削
C2= 0.8 バックホウ床掘
B1= - 路床盛土(W<2.5m)
B2= 0.4 人力埋戻(W<1.0m)
B3= - 人力盛土(W<1.0m)
L1= - 盛土法面仕上左
L2= - 切土法面仕上左
L3= 0.8 切土法面仕上右

NO. 2

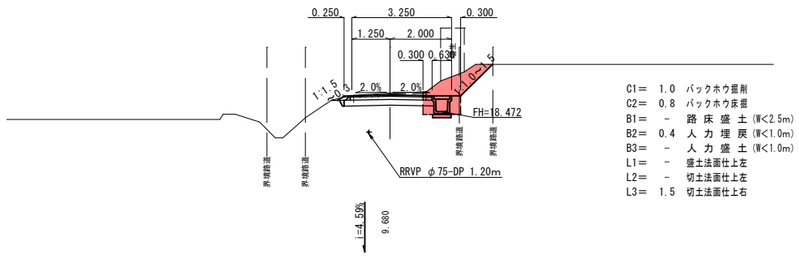
GH=19.93
FH=19.928
-0.002



C1= 0.6 バックホウ掘削
C2= 0.8 バックホウ床掘
B1= - 路床盛土(W<2.5m)
B2= 0.4 人力埋戻(W<1.0m)
B3= - 人力盛土(W<1.0m)
L1= - 盛土法面仕上左
L2= - 切土法面仕上左
L3= 1.0 切土法面仕上右

NO. 1

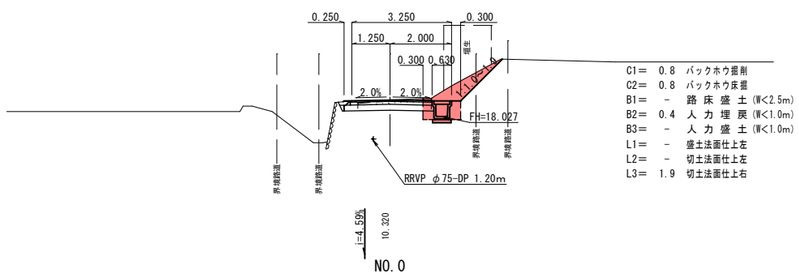
GH=19.08
FH=19.009
-0.071



C1= 1.0 バックホウ掘削
C2= 0.8 バックホウ床掘
B1= - 路床盛土(W<2.5m)
B2= 0.4 人力埋戻(W<1.0m)
B3= - 人力盛土(W<1.0m)
L1= - 盛土法面仕上左
L2= - 切土法面仕上左
L3= 1.5 切土法面仕上右

BC. 1

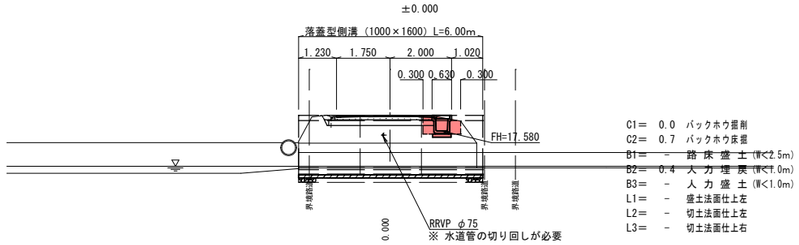
GH=18.57
FH=18.564
-0.006



C1= 0.8 バックホウ掘削
C2= 0.8 バックホウ床掘
B1= - 路床盛土(W<2.5m)
B2= 0.4 人力埋戻(W<1.0m)
B3= - 人力盛土(W<1.0m)
L1= - 盛土法面仕上左
L2= - 切土法面仕上左
L3= 1.9 切土法面仕上右

NO. 0

GH=18.09
FH=18.090
±0.000

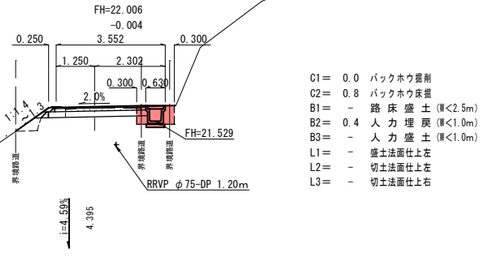


C1= 0.0 バックホウ掘削
C2= 0.7 バックホウ床掘
B1= - 路床盛土(W<2.5m)
B2= 0.4 人力埋戻(W<1.0m)
B3= - 人力盛土(W<1.0m)
L1= - 盛土法面仕上左
L2= - 切土法面仕上左
L3= - 切土法面仕上右

10.286

BC. 2

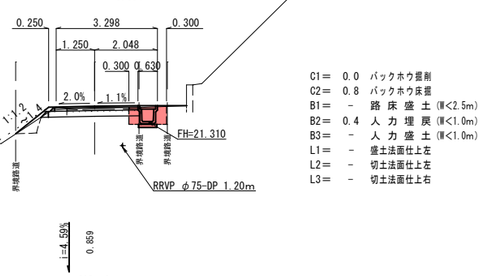
GH=22.01
FH=22.006
-0.004



C1= 0.0 バックホウ掘削
C2= 0.8 バックホウ床掘
B1= - 路床盛土(W<2.5m)
B2= 0.4 人力埋戻(W<1.0m)
B3= - 人力盛土(W<1.0m)
L1= - 盛土法面仕上左
L2= - 切土法面仕上左
L3= - 切土法面仕上右

EC. 1

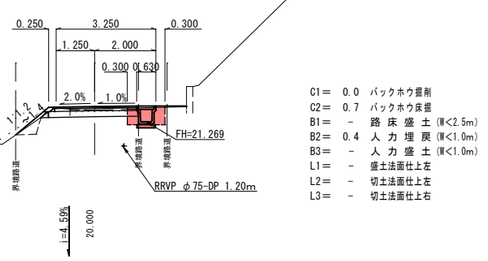
GH=21.74
FH=21.804
+0.064



C1= 0.0 バックホウ掘削
C2= 0.8 バックホウ床掘
B1= - 路床盛土(W<2.5m)
B2= 0.4 人力埋戻(W<1.0m)
B3= - 人力盛土(W<1.0m)
L1= - 盛土法面仕上左
L2= - 切土法面仕上左
L3= - 切土法面仕上右

NO. 4

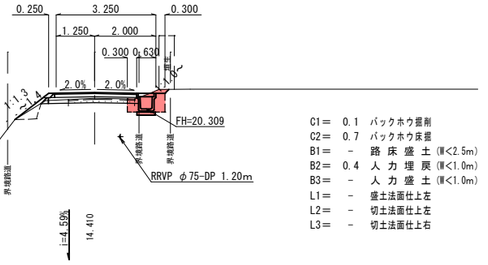
GH=21.70
FH=21.765
+0.065



C1= 0.0 バックホウ掘削
C2= 0.7 バックホウ床掘
B1= - 路床盛土(W<2.5m)
B2= 0.4 人力埋戻(W<1.0m)
B3= - 人力盛土(W<1.0m)
L1= - 盛土法面仕上左
L2= - 切土法面仕上左
L3= - 切土法面仕上右

NO. 3

GH=20.66
FH=20.846
+0.186



C1= 0.1 バックホウ掘削
C2= 0.7 バックホウ床掘
B1= - 路床盛土(W<2.5m)
B2= 0.4 人力埋戻(W<1.0m)
B3= - 人力盛土(W<1.0m)
L1= - 盛土法面仕上左
L2= - 切土法面仕上左
L3= - 切土法面仕上右

令和７年度　工事番号　第2025000706号

市道 金沢下北高平線　　南相馬市原町区下北高平字北山 地内外

側溝新設事業排水路整備（金沢下北高平線）工事

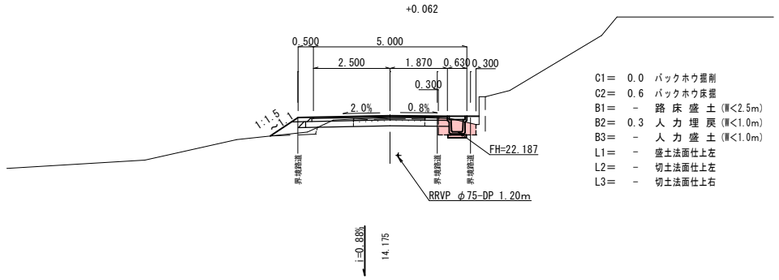
横　　断　　図（２－１）

縮尺	1:100	図面全 9 葉の 4			
測量	(株) 第一開発コンサルタント	7 年 1 月 日	主任技術者		
設計	(株) 第一開発コンサルタント	7 年 1 月 日	管理技術者		

南 相 馬 市 役 所

NO.6

GH=22.65
FH=22.712
+0.062

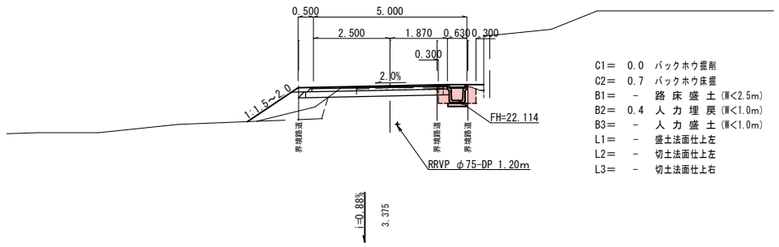


C1= 0.0 バックホウ掘削
C2= 0.6 バックホウ床掘
B1= - 路床盛土(W<2.5m)
B2= 0.3 人力埋戻(W<1.0m)
B3= - 人力盛土(W<1.0m)
L1= - 盛土法面仕上左
L2= - 切土法面仕上左
L3= - 切土法面仕上右

DL=23.000　DL=23.000

EC.2

GH=22.57
FH=22.587
+0.017

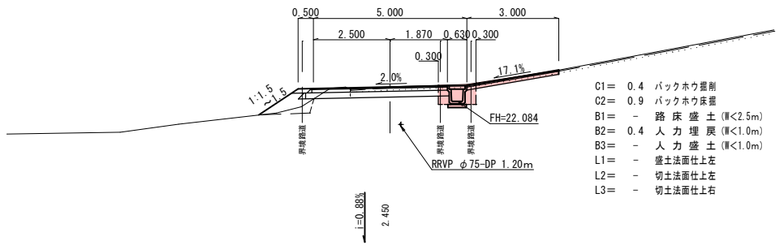


C1= 0.0 バックホウ掘削
C2= 0.7 バックホウ床掘
B1= - 路床盛土(W<2.5m)
B2= 0.4 人力埋戻(W<1.0m)
B3= - 人力盛土(W<1.0m)
L1= - 盛土法面仕上左
L2= - 切土法面仕上左
L3= - 切土法面仕上右

DL=23.000　DL=23.000

NO.5+2.45

GH=22.56
FH=22.557
-0.003

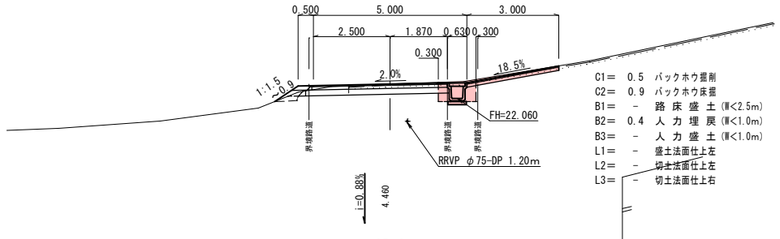


C1= 0.4 バックホウ掘削
C2= 0.9 バックホウ床掘
B1= - 路床盛土(W<2.5m)
B2= 0.4 人力埋戻(W<1.0m)
B3= - 人力盛土(W<1.0m)
L1= - 盛土法面仕上左
L2= - 切土法面仕上左
L3= - 切土法面仕上右

DL=23.000　DL=23.000

NO.5

GH=22.54
FH=22.533
-0.007

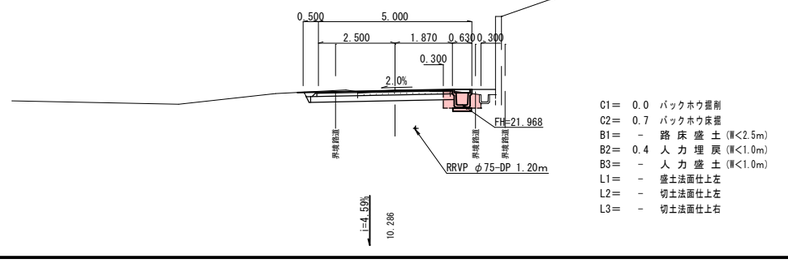


C1= 0.5 バックホウ掘削
C2= 0.9 バックホウ床掘
B1= - 路床盛土(W<2.5m)
B2= 0.4 人力埋戻(W<1.0m)
B3= - 人力盛土(W<1.0m)
L1= - 盛土法面仕上左
L2= - 切土法面仕上左
L3= - 切土法面仕上右

DL=23.000　DL=23.000

SP.2

GH=22.46
FH=22.441
-0.019

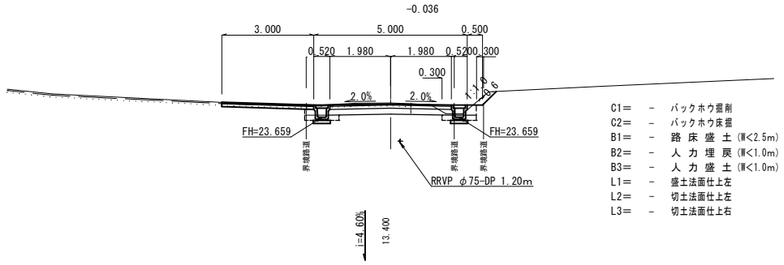


C1= 0.0 バックホウ掘削
C2= 0.7 バックホウ床掘
B1= - 路床盛土(W<2.5m)
B2= 0.4 人力埋戻(W<1.0m)
B3= - 人力盛土(W<1.0m)
L1= - 盛土法面仕上左
L2= - 切土法面仕上左
L3= - 切土法面仕上右

DL=22.000　DL=22.000

NO.9+13.40

GH=24.13
FH=24.094
-0.036

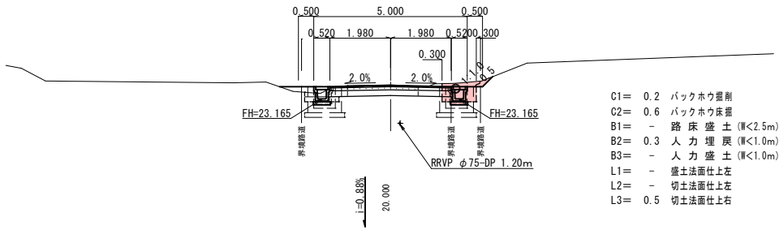


C1= - バックホウ掘削
C2= - バックホウ床掘
B1= - 路床盛土(W<2.5m)
B2= - 人力埋戻(W<1.0m)
B3= - 人力盛土(W<1.0m)
L1= - 盛土法面仕上左
L2= - 切土法面仕上左
L3= - 切土法面仕上右

DL=24.000　DL=24.000

NO.9

GH=23.62
FH=23.600
-0.020

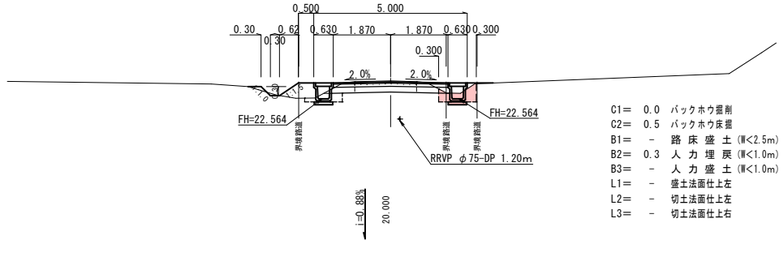


C1= 0.2 バックホウ掘削
C2= 0.6 バックホウ床掘
B1= - 路床盛土(W<2.5m)
B2= 0.3 人力埋戻(W<1.0m)
B3= - 人力盛土(W<1.0m)
L1= - 盛土法面仕上左
L2= - 切土法面仕上左
L3= 0.5 切土法面仕上右

DL=24.000　DL=24.000

NO.8

GH=23.15
FH=23.111
-0.039

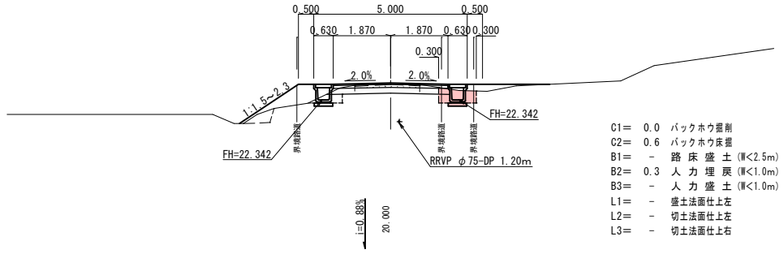


C1= 0.0 バックホウ掘削
C2= 0.5 バックホウ床掘
B1= - 路床盛土(W<2.5m)
B2= 0.3 人力埋戻(W<1.0m)
B3= - 人力盛土(W<1.0m)
L1= - 盛土法面仕上左
L2= - 切土法面仕上左
L3= - 切土法面仕上右

DL=23.000　DL=23.000

NO.7

GH=22.89
FH=22.889
-0.001



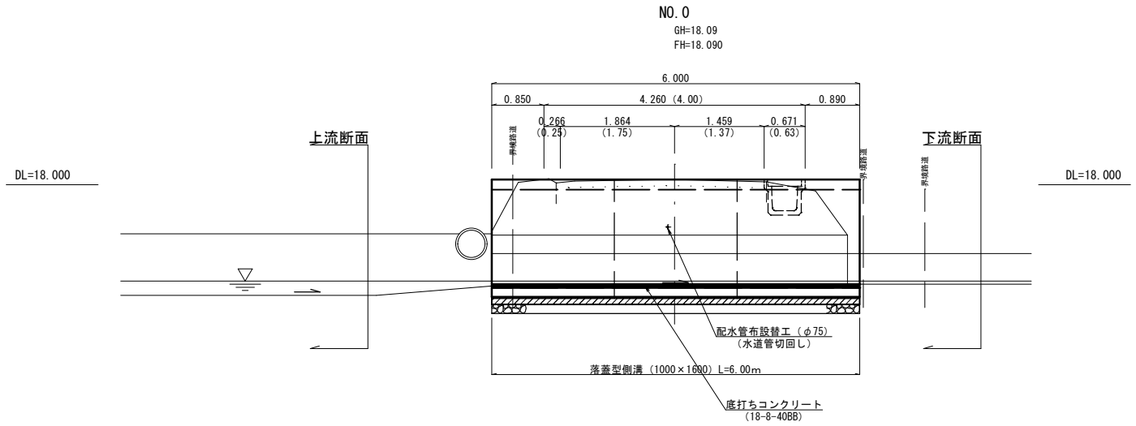
C1= 0.0 バックホウ掘削
C2= 0.6 バックホウ床掘
B1= - 路床盛土(W<2.5m)
B2= 0.3 人力埋戻(W<1.0m)
B3= - 人力盛土(W<1.0m)
L1= - 盛土法面仕上左
L2= - 切土法面仕上左
L3= - 切土法面仕上右

DL=23.000　DL=23.000

令和７年度　工事番号　第2025000706号					
市道 金沢下北高平線　　南相馬市原町区下北高平字北山 地内外					
側溝新設事業排水路整備（金沢下北高平線）工事					
横　　断　　図（2－2）					
縮尺	1:100	図面全 9 葉の 5			
測量	(株) 第一開発コンサルタント	7 年 1 月 日	主任技術者		
設計	(株) 第一開発コンサルタント	7 年 1 月 日	管理技術者		
南　相　馬　市　役　所					

第１号横断工図

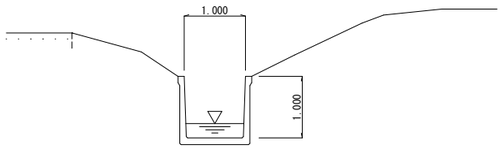
S=1：50

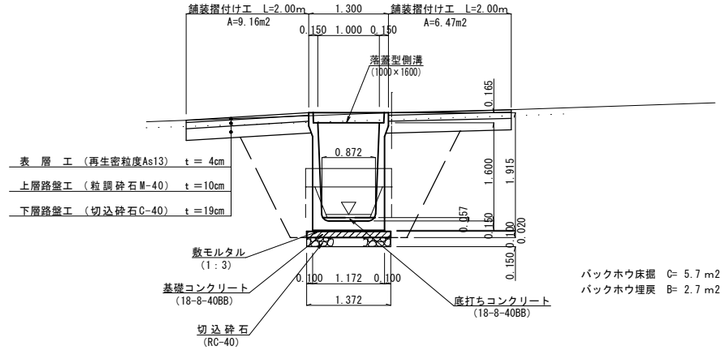


落蓋型側溝（1000×1600）

S=1：50

上流側





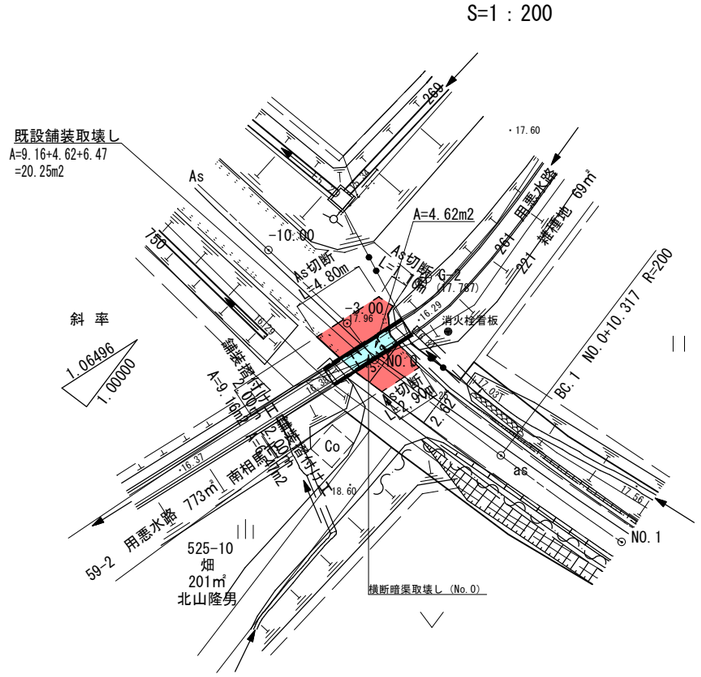
バックホウ床掘 C= 5.7 m2
バックホウ埋戻 B= 2.7 m2

落蓋型側溝（1000×1600）数量計算（10.0m当り）

落蓋型側溝（1000×1600）	N=5.0本（2.820kg/本）
敷モルタル（1：3）	V=0.234m3
基礎コンクリート（18-8-40BB） t＝10cm	V=1.372m3
基礎型枠（無筋構造物）	A=2.0m2
基礎砕石（RC-40） t＝20cm	A=13.72m2

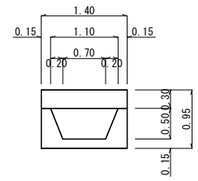
平 面 図

S=1：200



横断暗渠取壊し（No.0）

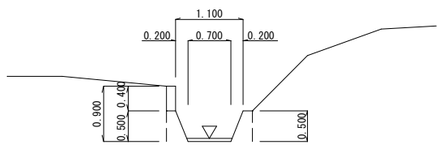
L＝6.00m



コンクリート取壊し（鉄筋構造物）

V=（1.40×0.95-(1.10+0.70) ×1/2×0.50）×6.00=5.28m3

下流側



第1号横断工数量計算（1.0式）

落蓋型側溝（1000×1600）	
落蓋型側溝（1000×1600）	L＝6.00m
落蓋型側溝蓋（W=1000用）	N＝ 6 枚（430kg/1m/枚）
底打ちコンクリート（18-8-40BB）	V＝0.872×0.057×6.00＝0.30m3
取壊し工	
舗装版切断（As版、t＝4cm）	L＝4.80+1.10+2.90＝8.80m
舗装版切断（汚泥水処理）	V＝8.80÷203.0×1.80×0.85＝0.066m3
舗装版取壊し（As版、t＝4cm）	A＝20.25m2
コンクリート取壊し（鉄筋構造物）	V＝5.28m3
Ａｓ殻運搬	V＝20.25×0.04＝0.81m3
Ｃｏ殻運搬（鉄筋構造物）	V＝5.28m3
Ａｓ殻処分	W＝0.81m3×2.35ｔ/m3＝1.90ｔ
汚泥水処分	W＝0.066m3×1.40ｔ/m3＝0.092ｔ
舗装復旧工	
表層工（再生密粒度As13、t＝4cm）	A＝9.16+6.47＝15.63m2
上層路盤工（粒調砕石 M-40、t＝10cm）	A＝9.16+6.47＝15.63m2
下層路盤工（切込砕石 C-40、t＝19cm）	A＝9.16+6.47＝15.63m2
土工数量	
バックホウ床掘	V=5.7×6.00＝34.2m3
バックホウ埋戻	V=2.7×6.00＝16.2m3
残　　土	V=34.2－（16.2/0.9）＝16.2m3
付帯工事	
配水管布設替工（φ75）	N＝1.0式（別紙図面参照）

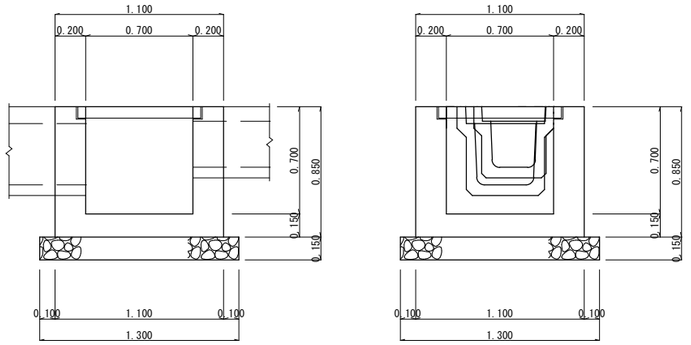
令和７年度　工事番号　第2025000706号					
市道 金沢下北高平線　　南相馬市原町区下北高平字北山 地内外					
側溝新設事業排水路整備（金沢下北高平線）工事					
第 １号 横 断 工 図					
縮 尺	図 示	図面全 9 葉の 6			
測 量	(株) 第一開発コンサルタント	7 年 1 月 日	主 任 技術者		
設 計	(株) 第一開発コンサルタント	7 年 1 月 日	管 理 技術者		
南 相 馬 市 役 所					

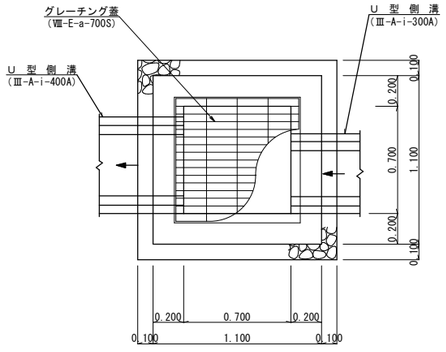
集　水　桝　工　図

S=1:20

1号 集 水 桝

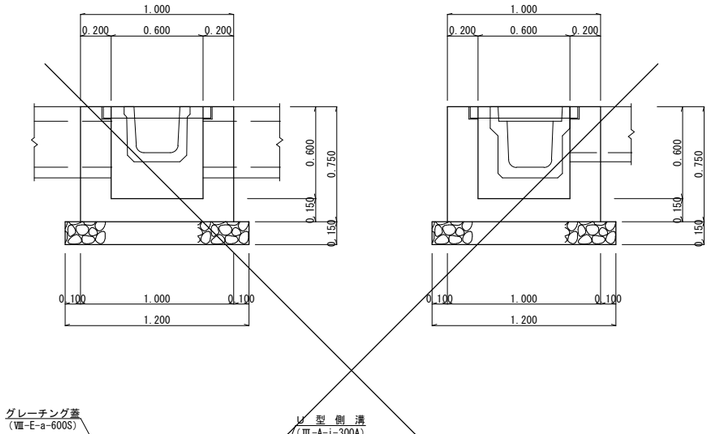
（ No.9 右 ）

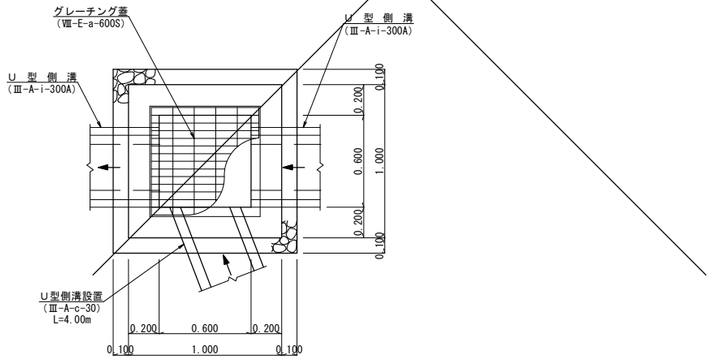




2号 集 水 桝

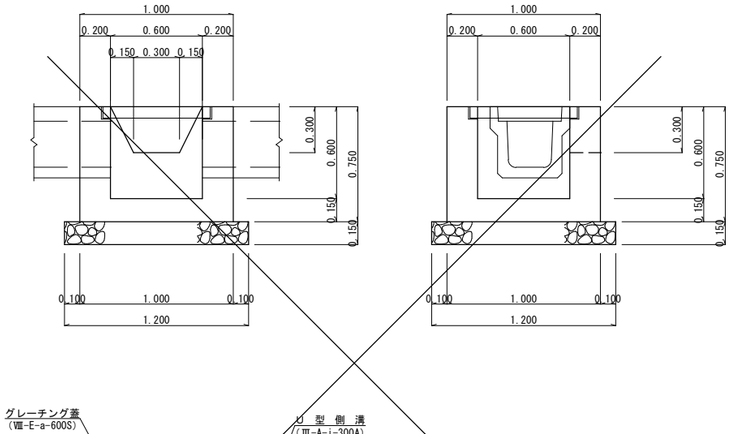
（ No.10+8.00m 右 ）

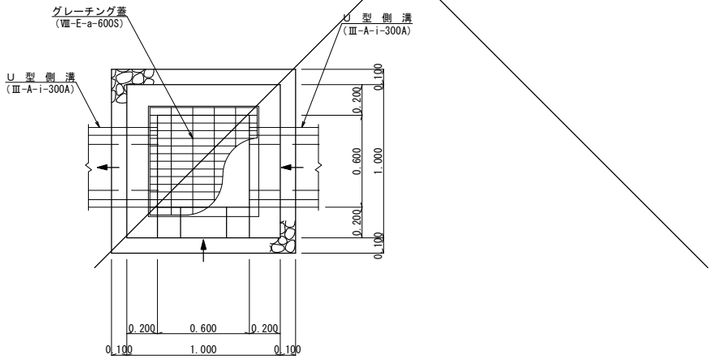




3号 集 水 桝

（ No.11+13.20m 右 ）





1号集水桝数量計算

コンクリート（18-8-40BB）	V=1.10×1.10×0.85−0.70×0.70×0.70=0.69m3
型　　枠（小型構造物）	A=（1.10+0.70）×4×0.85=6.12m2
基礎砕石(RC-40、t＝15cm)	A=1.30×1.30=1.69m2
グレーチング蓋(Ⅷ-E- a-700S)	N=1.0 枚（84.8kg/枚）

2号集水桝数量計算

コンクリート（18-8-40BB）	V=1.00×1.00×0.75−0.60×0.60×0.60=0.53m3
型　　枠（小型構造物）	A=（1.00+0.60）×4×0.75=4.80m2
基礎砕石(RC-40、t＝15cm)	A=1.20×1.20=1.44m2
グレーチング蓋(Ⅷ-E- a-600S)	N=1.0 枚（67.1kg/枚）
U型側溝設置(Ⅲ-A -c-30)	L=4.00m

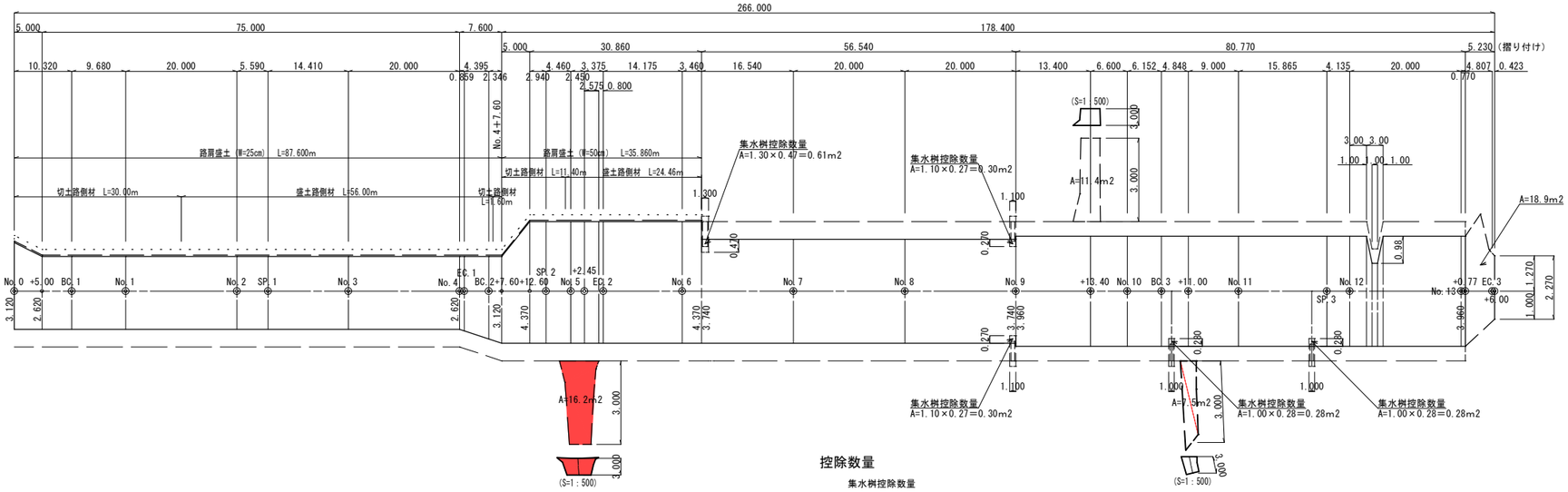
3号集水桝数量計算

コンクリート（18-8-40BB）	V=1.00×1.00×0.75−0.60×0.60×0.60=0.53m3
型　　枠（小型構造物）	A=（1.00+0.60）×4×0.75=4.80m2
基礎砕石(RC-40、t＝15cm)	A=1.20×1.20=1.44m2
グレーチング蓋(Ⅷ-E- a-600S)	N=1.0 枚（67.1kg/枚）

令和７年度　工事番号　第2025000706号				
市道 金沢下北高平線　　南相馬市原町区下北高平字北山 地内外				
側溝新設事業排水路整備（金沢下北高平線）工事				
集　水　桝　工　図				
縮 尺	図 示	図面全 9 葉の 7		
測 量		年 月 日	主 任 技術者	
設 計	(株) 第一開発コンサルタント	7 年 1 月 日	管 理 技術者	
南 相 馬 市 役 所				

舗 装 工 展 開 図

H=1:500
V=1:100



控除数量

集水桝控除数量

A＝0.61+0.30+0.30+0.28+0.28＝1.77m2

舗装数量計算

~~表層工（再生密粒度As13、 t＝4cm）~~

A＝（3.12+2.62）×1/2×5.00+2.62×75.00+（2.62+3.12）×1/2×7.60+（3.12+4.37）×1/2×5.00+4.37×30.86
+3.74×56.54+3.96×80.77－（3.00+1.00）×1/2×0.98－1.77m2＝913.82m2

~~上層路盤工（粒調砕石 M-40、 t＝10cm）~~

A＝913.82m2+（87.60+35.86）×0.05＝919.99m2

~~上層路盤路側材（粒調砕石 M-40）~~

V＝（87.60+35.86）×0.0100m2＝1.23m3

~~下層路盤工（切込砕石 C-40、 t＝19cm）~~

A＝913.82m2+（87.60+35.86）×0.25＝944.69m2

~~下層路盤路側材（切込砕石 C-40）~~

V＝（30.00+1.60+11.40）×0.0185m2+（56.00+24.46）×0.0276m2＝3.02m3

~~路肩盛土（W=50cm）~~

V＝87.60×0.0347m2+35.86×0.0697m2＝5.54m3

取付表層工（再生密粒度As13、 t＝4cm）摺り付け部含む

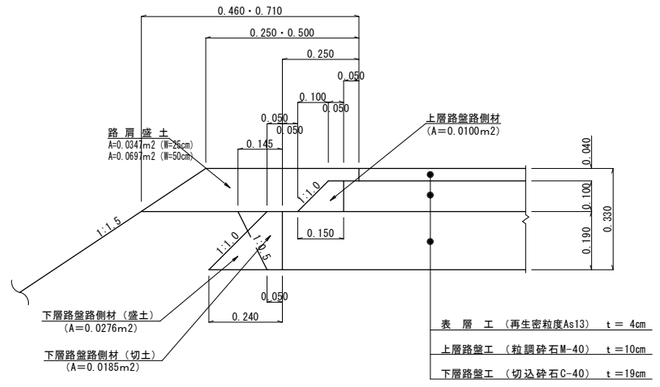
A＝16.20m2

取付路盤工（切込砕石 C-40、 t＝10cm）摺り付け部含む

A＝16.20m2

路 肩 詳 細 図

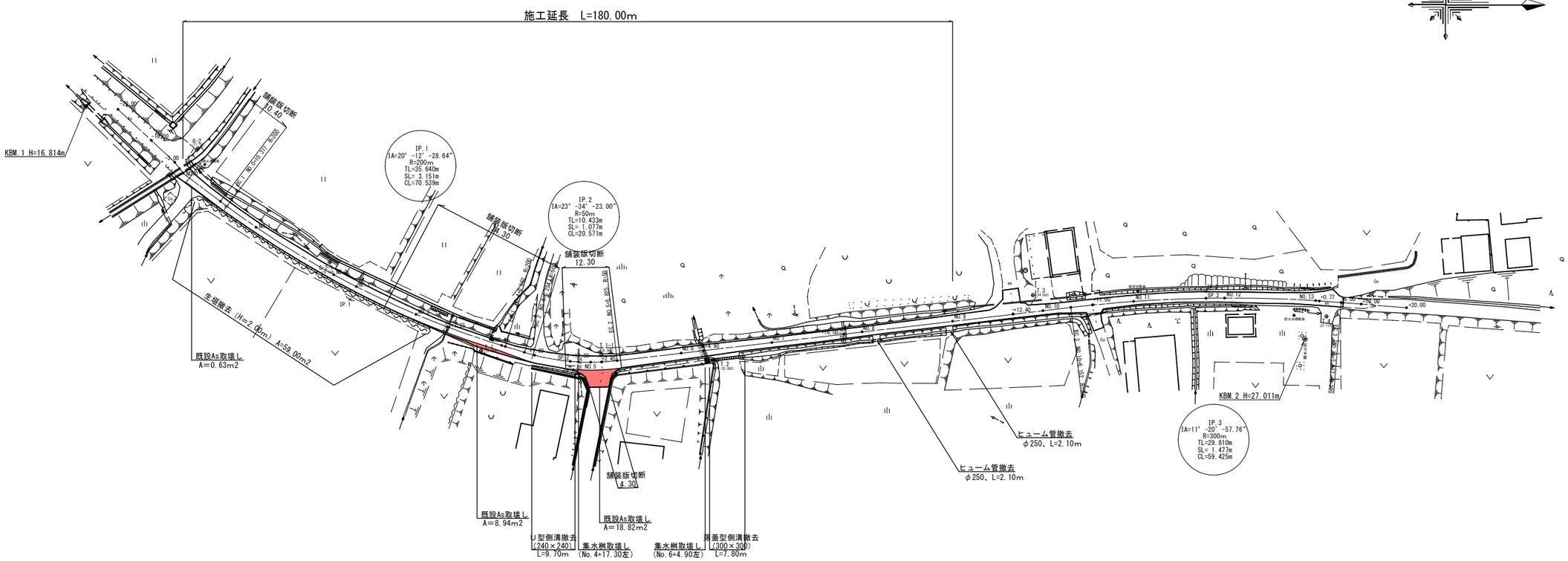
S=1:10



令和７年度 工事番号 第2025000706号			
市道 金沢下北高平線 南相馬市原町区下北高平字北山 地内外			
側溝新設事業排水路整備（金沢下北高平線）工事			
舗 装 工 展 開 図			
縮 尺	図 示	図面全 9 葉の 8	
測 量		年 月 日	主任技術者
設 計	(株) 第一開発コンサルタント	7 年 1月 日	管理技術者
南 相 馬 市 役 所			

取 壊 し 工 平 面 図

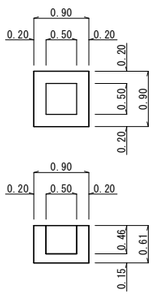
S=1:500



コンクリート取壊しエ

S=1:50

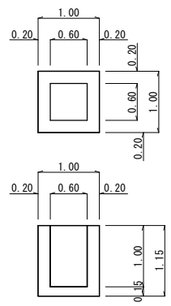
集水桝取壊し
(No.4+17.30左)



コンクリート取壊し（無筋構造物）

V=0.90×0.90×0.61-0.50×0.50×0.46=0.38m3

集水桝取壊し
(No.6+4.90左)



コンクリート取壊し（無筋構造物）

V=1.00×1.00×1.15-0.60×0.60×1.00=0.79m3

ヒューム管取壊し（φ250）

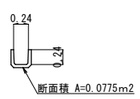
L＝2.10+2.10＝4.20m

コンクリート取壊し（鉄筋構造物）

V=0.0245×4.20=0.10m3

U型側溝撤去（240×240）

L＝9.70m

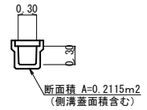


コンクリート取壊し（鉄筋構造物）

V=0.0775×9.70=0.75m3

落蓋型側溝撤去（300×300）

L＝7.80m



コンクリート取壊し（鉄筋構造物）

V=0.2115×7.80=1.65m3

取壊し工数量計算

舗装版切断（As版、t＝4cm）

L＝10.40+34.30+12.30+4.30＝61.30m

舗装版切断（汚泥水処理）

V＝61.30÷203.0×1.80×0.85＝0.46m3

舗装版取壊し（As版、t＝4cm）

A＝0.63+8.94+18.82＝28.39m2

コンクリート取壊し（鉄筋構造物）

V＝0.10+0.75+1.65＝2.50m3

コンクリート取壊し（無筋構造物）

V＝0.38+0.79＝1.17m3

As殻運搬

V＝28.39×0.04＝1.14m3

Co殻運搬（鉄筋構造物）

V＝2.50m3

Co殻運搬（無筋構造物）

V＝1.17m3

As殻処分

W＝1.14m3×2.35t/m3＝2.68t

Co殻処分（鉄筋構造物）

W＝2.50m3×2.50t/m3＝6.25t

Co殻処分（無筋構造物）

W＝1.17m3×2.35t/m3＝2.75t

泥水処分

W＝0.46m3×1.40t/m3＝0.64t

生垣撤去（H=2.00m）（想定値）

A＝59.00m2

樹木運搬（想定値）

V＝59.00m2×2.00m×0.3＝35.40m3

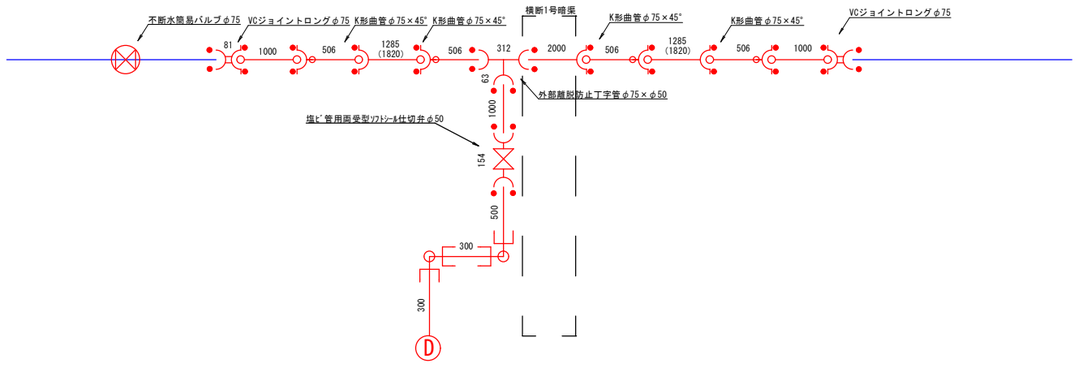
樹木処分（想定値）

W＝59.00m2×0.04t/m2＝2.36t

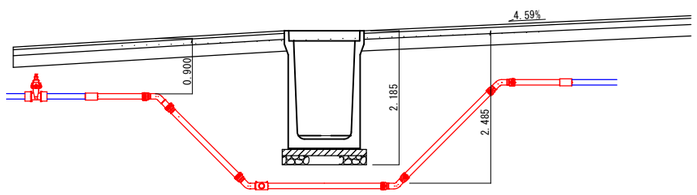
令和７年度　工事番号　第2025000706号				
市道 金沢下北高平線　南相馬市原町区下北高平字北山 地内外				
側溝新設事業排水路整備（金沢下北高平線）工事				
取 壊 し 工 平 面 図				
縮尺	図示	図面全 9 葉の 9		
測量		7年1月日	主任技術者	
設計	(株)第一開発コンサルタント	7年1月日	管理技術者	
南 相 馬 市 役 所				

配　水　管　布　設　替　工

配　管　詳　細　図　　S=Free



暗　渠　下　越　縦　断　図



令和７年度　契約番号2025000706号				
南相馬市原町区下北高平字北山　地内外				
側溝新設事業排水路整備（金沢下北高平線）工事				
配水管布設替工図				
縮尺	図示	図面全 1 の 1		
福島県南相馬市				